

第 2 次石巻市総合計画

施策評価結果（令和 4 年度実績）

総合計画基本計画	1
第 1 章 住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち（6 節）	1
第 2 章 都市と自然が調和し快適とやすらぎが生まれるまち（3 節）	13
第 3 章 共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち（5 節） .	21
第 4 章 多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち（6 節）	33
第 5 章 豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち（6 節）	51
第 6 章 市民の声が共鳴し市民と行政が共に創るまち（2 節）	65
第 2 期 復興・創生期間に係る対応方針	73
第 1 章 第 2 期 復興・創生期間に係る対応方針（2 対応方針）	73
地方創生の取組	77
第 1 章 人口戦略の推進（4 対応方針）	77
第 2 章 未来都市の実現（1 対応方針）	93

章	
節	
数値目標 (KGI)	基本計画におけるKGIは全て市民満足度に統一したため、令和5年度に実施する市民意識調査にて把握します。
目標値の考え方	第2次石巻市総合計画策定に係る市民意識調査（令和元年11月～12月実施）の結果を参考に、計画の最終年度である令和7年度の目標値を設定しています。
設定値 (%)	R3 (基準値) ⇒ R7 (最終目標値) ⇒

■節の達成状況

主な担当課																												
関係課																												
令和4年度の主な取組や成果																												
<p>②【基本計画】各KPIの達成度</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上 <p>【復興創生・地方創生】各KGIの達成度</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎：a（どちらもa） ○：b（どちらも「aまたはb」） △：c（どちらかが「cまたはd」） ×：d（どちらもd） 																												
令和4年度における主な課題	改善した点・方向性																											
<p>④定量評価と定性評価を掛け合わせた評価</p> <ul style="list-style-type: none"> A：順調 B：概ね順調 C：やや遅れている D：遅れている <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">定性評価</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">◎</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">定量評価</td> <td style="text-align: center;">◎</td> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: center;">B</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: center;">B</td> <td style="text-align: center;">C</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">△</td> <td style="text-align: center;">B</td> <td style="text-align: center;">C</td> <td style="text-align: center;">D</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">C</td> <td style="text-align: center;">D</td> <td style="text-align: center;">D</td> </tr> </table>			定性評価					◎	○	×	定量評価	◎	A	A	B	○	A	B	C	△	B	C	D	×	C	D	D	<p>③担当課において3段階で評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない
		定性評価																										
		◎	○	×																								
定量評価	◎	A	A	B																								
	○	A	B	C																								
	△	B	C	D																								
	×	C	D	D																								
内部評価	定性評価	定量評価																										
④	③	②																										

外部評価

【評価の視点】

- 内部評価の妥当性（市の施策と市民目線がかけ離れていないか）
- 遅れている施策（CまたはD）を推し進めるための意見

【評価方法】

以下の基準により各委員から評価をいただき、最も多い評価を外部評価としました。
A：順調、B：概ね順調、C：やや遅れている、D：遅れている

<p>重要業績評価指標 (KPI)</p> <p>★指標見直し</p>								担当部課	
<p>指標の考え方</p> <p>設定した指標の達成状況を確認することで、どのような効果を測るのか記載しています。</p>									
<p>目標値の考え方</p> <p>設定した目標値の根拠を記載しています。</p>									
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲			
目標 ()									
実績 ()			-	-	-	R4達成度			
達成率	-		-	-	-				
<p>重要業績評価指標 (KPI)</p> <p>☆目標値見直し</p>								担当部課	
<p>指標の考え方</p> <p>R4年度に指標・目標値を見直している場合は以下のとおり表記しています。 ★指標見直し ☆目標値見直し</p>									
<p>目標値の考え方</p>									
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲			
目標 ()									
実績 ()						R4達成度	①		
達成率	-								
<p>①達成率から以下の4段階に分類 a : 100%~ b : 80~99% c : 60~79% d : ~59%</p>									
<p>重要業績評価指標 (KPI)</p>								担当部課	
<p>指標の考え方</p>									
<p>R4実績値及び目標値から達成率を算出しています。 ア 増加や維持が目標：実績値／目標値 イ 減少や抑制が目標：目標値／実績値 →イは実績値が低い程、達成率が上がります。 その場合、達成率の右側に「※」を表記しています。</p>									
目標				R6	R7(最終)	再掲			
実績			-	-	-	R4達成度			
達成率 ※	-		-	-	-				
<p>「地方創生の取組」においても同じ指標を設定している場合には該当ページを表記しています。</p>									

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	1 住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち		
節	1 共生型社会に向けた地域コミュニティ活動活性化の充実		
数値目標 (KGI) ★指標見直し	地域コミュニティ活動が活性化していると感じる市民の割合		
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） コミュニティ（地域自治）活動の充実（①+②） ①[満足・どちらかといえば満足] 48.8% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 18.2%		
設定値 (%)	R3 (基準値)	⇒	R7(最終目標値)
	48.8	⇒	67.0

■節の達成状況

主な担当課	市民生活部地域協働課		
関係課	復興企画部地域振興課		
令和4年度の主な取組や成果			
少子高齢化等による地域活動の担い手不足を解消するため、自治会への加入促進を広報活動等により行うとともに、自治会の枠を超えて活動する住民自治組織を2地区（蛇田地区・湊地区）において、新たに設立し、住民主体の地域づくりの推進を図った。また、地域活動の拠点となる集会所の建設等整備事業に対して補助金を交付し、地域拠点の整備により、住民の連帯意識の醸成や自治意識の高揚が図られた。 地域まちづくり委員会事業については、総合支所それぞれが中心となり、地域課題や新規事業に対して決定した過程や今後の展望などについて協議を行っており、各総合支所2件ずつ計12件の検討を目標としていたが6件に留まった。各地域によって課題は異なるものの、具体的には、道路整備や高齢者移動手段の確保、保育所再編や学区再編に関すること、公共施設のあり方、住民バス等の増便、過疎地域に関すること、総合支所のあり方の検討状況など、地域の発展と活性化につながる事案について情報共有を図った。 友好都市等との交流事業については、新型コロナウイルス感染症の影響により、地域住民が参加する対面による交流は積極的に実施することができなかったものの、オンラインによる青少年間交流での自分の街の紹介や、外国大使の受入れ時には中学校での講演を実施したことにより、改めて自分の地域を知り、考える機会を創出することができた。			
令和4年度における主な課題		改善した点・方向性	
①	住民自治組織の設立について、新たに2地区を設立したものの、意識醸成や設立に向けたノウハウの不足により、未設立となっている地区がある。	未設立地区への住民自治組織の有効性の説明等による意識醸成に取り組むとともに、組織設立に向けたノウハウの提供や関係団体による支援など行政によるサポート体制を充実させた。	
②	地域まちづくり委員会で協議が行われているが、個別事業として提案するまでには至っていない。	地域の発展と活性化のために求められる事業について委員間で情報共有を図りながら、協議を重ね、個別事業として提案できるように取り組む。	
③	新型コロナウイルス感染症の影響により、各都市との訪問・受入れなどの対面交流が困難であった。	対面交流が困難な中、高校生間でのオンライン交流を行い、両市の理解を深めた。今後も友好往来促進に努めていく。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
C	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	△
			◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上

外部評価	主な意見
C やや遅れている	地域まちづくり委員会において、総合支所ごとに地域課題を検討することのだが、これはとても大切な事業なので、もっと積極的に実施してほしい。

細節		1 コミュニティ活動の活性化を図る					
重要業績評価指標 (KPI)	住民自治組織交付金を活用して活動した団体数 (単年)						担当部課
★指標見直し							市民生活部地域協働課
指標の考え方	住民主体の地域づくりを推進するため、市内16地区すべての住民自治組織の設立を目指す。						
目標値の考え方	○基準値：令和2年度 4件 (山下、河南、桃生、北上) 市内全16地区での実施を目指す。 (石巻、山下、山の手、住吉、釜・大街道、湊、渡波、稲井、荻浜、蛇田、河南、雄勝、河北、桃生、北上、牡鹿)						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	地方創生 P90
目標 (件)	-	6	7	11	16		
実績 (件)	3	4	-	-	-	R4達成度	C
達成率	-	66.6%	-	-	-		
細節		2 地域の均衡ある発展を図る					
重要業績評価指標 (KPI)	地域で取り組むべき事項の検討件数 (単年)						担当部課
★指標見直し							復興企画部地域振興課
指標の考え方	地域まちづくり委員会において、地域における課題の把握及び解決に努めることで合併前の旧町地域の均衡ある発展及び活性化を図る。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 7件 6総合支所 (河南、雄勝、河北、桃生、北上、牡鹿) ごとに各2件の地域課題等について検討を行う。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (件)	-	12	12	12	12		
実績 (件)	7	6	-	-	-	R4達成度	d
達成率	-	50.0%	-	-	-		
細節		3 友好都市等との交流を推進する					
重要業績評価指標 (KPI)	友好都市等との交流事業参加者数 (単年)						担当部課
★指標見直し							復興企画部地域振興課
指標の考え方	地域住民が参加する多様な交流事業を実施し、関係人口の拡大を推進することで、地域の活性化を図る。また、事業を通じて自分たちの住む地域に対する理解・興味を増進させ、地域の活動への参加促進を図る。						
目標値の考え方	○基準値：平成28年度～令和元年度の平均 216名 ※令和2・3年度は全事業中止 【国内姉妹都市・友好都市】各事業50名 茨城県ひたちなか市：隔年1回、山形県河北町：年2回、山口県萩市：年1回 【国際姉妹都市・友好都市】各事業20名 イタリア・チビタベッキア市：年1回、中国・温州市：年1回						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (人)	-	250	250	250	250		
実績 (人)	0	215	-	-	-	R4達成度	b
達成率	-	86.0%	-	-	-		

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	1 住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち		
節	2 少子高齢化社会に対応する移住・定住の促進		
数値目標 (KGI) ★指標見直し	移住・定住に対する施策が充実していると感じる市民の割合		
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 住みやすさ（①+②） ①[とても住みやすい・どちらかという住みやすい] 60.9% ②[どちらでもない・どちらかという住みにくい・住みにくい]×1/2 18.7%		
設定値 (%)	R3 (基準値)	⇒	R7(最終目標値)
	60.9	⇒	79.6

■節の達成状況

主な担当課	復興企画部SDGs移住定住推進課		
関係課	復興企画部地域振興課		
令和4年度の主な取組や成果			
移住定住の促進においては、移住相談窓口の開設や移住支援に関するポータルサイトの開設をはじめ、SNSを活用したPR活動、移住促進イベントへの参加・開催等を積極的に行った。また、東松島市及び女川町と連携して石巻圏域の魅力のPRすることで圏域内への移住促進にも努めた。 令和3年度から継続して実施している定住促進住宅取得等補助事業やお試し移住体験事業のほか、令和4年度から新規事業として、都市部の若者が一定の期間働きながら本市に滞在し、地域の方と交流することで関係人口の拡大を図り、将来の移住定住を促進するふるさとワーキングホリデー事業を実施した結果、多くの方に参加いただき将来的な本市への移住の可能性拡大へとつなげることができた。 外国人に対する定住環境においては、庁舎内での各種手続きサポートを始め、市民生活全般の相談に対応するとともに専門機関への紹介など適切な支援につなげるため、外国人相談窓口を開設し、13言語で対応可能な映像通訳アプリのほか、水曜日には中国人相談員、木曜日にはベトナム人相談員を配置し対応を行った。 また、日本語教室を開講している市内の任意団体へ補助金を交付しており、在住外国人に対して、日本語を習得する場だけではなく、日本文化体験や四季を感じることでできる交流イベントを開催し、日本人住民と外国人住民の相互理解を深める一助とすることができた。			
令和4年度における主な課題		改善した点・方向性	
①	特に10代から20代の若年層の転出超過による人口減少が進んでいる。	ふるさとワーキングホリデー事業で都市部在住の若者を受け入れることで関係人口を拡大し、本市への将来的な移住定住の可能性へつなげることができた。	
②	相談窓口は、定住外国人が安心して暮らせるために設置するものであるが、利用者からの口コミにより相談につながるケースが多く、認知度を上げる取組が必要となっている。	外国人住民がよく訪れる商業施設等へ周知ポスターを掲示するとともに、ポスターの内容も多言語化し、より分かりやすく伝えられるよう改善した。相談内容は様々であることから、丁寧な聞き取りを行い、必要な支援を行うとともに、適切な関係機関へつなげることができた。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
A	◎		◎
	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない		◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上

外部評価	主な意見
A 順調	「10代から20代の若年層の転出超過」は大きな課題だが、この課題についての対策はどのように講じられるのか。

細節		1 移住したくなるライフスタイルの形成を図る					
重要業績評価指標 (KPI)	移住対策事業を活用した本市への移住人数 (単年)	担当部課					
★指標見直し		復興企画部SDGs移住定住推進課					
指標の考え方	移住対策事業 (移住相談、空き家バンク、石巻市定住促進住宅取得等補助金、お試し移住体験) を推進することで、移住人口の増加を図る。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 76人 令和3年度から移住希望者に対する住宅取得等の補助金を創設したことから、補助金を活用した移住者130人、相談窓口を利用した移住者20人を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	地方創生 P82
目標 (人)	-	150	150	150	150		
実績 (人)	76	152	-	-	-	R4達成度	a
達成率	-	101.3%	-	-	-		
細節		2 国際社会に対応する安心な定住環境を整備する					
重要業績評価指標 (KPI)	外国人住民数 (単年)	担当部課					
★指標見直し		復興企画部地域振興課					
指標の考え方	外国人が暮らしやすいまちづくりを推進するため、外国人の生活相談等の窓口を充実させ、外国人の移住人数を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度末 外国人住民数1,205人 ※令和4年12月末現在 外国人住民数1,415人 令和4年度の途中から出入国制限が緩和されたことにより一時的に急減な増加となっているが、過去5年の平均として39名の増加となっていることから、年間40名の増加を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (人)	-	1,400	1,440	1,480	1,520		
実績 (人)	1,205	1,375	-	-	-	R4達成度	b
達成率	-	98.2%	-	-	-		

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	1 住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち		
節	3 安心して暮らすための地域防災力などの向上		
数値目標 (KGI) ★指標見直し	地域の防災対策が推進されていると感じる市民の割合		
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 地震や水害に対する防災体制づくり（①+②） ①[満足・どちらかといえば満足] 46.8% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 22.4%		
設定値 (%)	R3 (基準値)	⇒	R7 (最終目標値)
	46.8	⇒	69.2

■節の達成状況

主な担当課	総務部危機対策課		
関係課			
令和4年度の主な取組や成果			
<p>令和3年度まで実施してきた電子メールやSNS等を活用した登録制の「シェイクアウト訓練」に加え、令和4年度から「住民避難訓練」や「自主防災組織等による防災訓練」を実施した。ホームページ、SNS、防災無線などによる周知を行い、学校地域防災連絡会等を主体とし、新たに公表された津波浸水想定を踏まえた避難行動や避難経路の確認などの啓発活動を行ったことにより、防災訓練参加率の目標は達成できなかったものの「自分の命は自分で守る、みんなの命は地域で支える。」という自助・共助の意識を高める啓発はできた。</p> <p>災害メール配信サービスは、災害情報の発信における有効な手段の一つでもあり、このサービスを普及することで、これまで以上に文字による正確な情報発信や防災無線の聞き逃し防止が可能となる。ラジオ石巻への出演や防災フェア、出前講座などのあらゆる機会を捉え効果的なPR活動を行ったことで、目標を超える登録実績を達成できた。</p> <p>また、消防団の資機材（ポンプ置場、消防車両等）を計画的に更新・整備することにより、災害現場等における効率化が図られ団員の活動においても負担軽減が図られたほか、消火活動や災害時に迅速な対応が可能となり、地域住民の安全安心が確保された。</p>			
令和4年度における主な課題		改善した点・方向性	
① 地域住民の参加と学校並びに自主防災組織を主体とする訓練の実施がされていない。		新たに公表された津波浸水想定を踏まえ、改めて避難行動などに対する取組や、避難所となっている学校と連携し学校地域防災連絡会等を通じて地域住民が自ら考え実施する訓練となるよう啓発した。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
B	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	○
			◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上

外部評価	主な意見		
B 概ね順調	全市で同じ防災訓練を開催するのではなく、地域（各総合支所）ごとに訓練内容を変えて実施すべき。		

細節		1 地域防災力の向上を図る					
重要業績評価指標 (KPI)	防災訓練参加率 (単年)						担当部課
★指標見直し							総務部危機対策課
指標の考え方	災害時に迅速に対応するためには、市民一人ひとりの防災意識や災害への備えが重要であることから、防災訓練の参加率を上げることで、地域防災力の向上を図る。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 17.75% 直近の一番高い参加率が平成30年度の20%であることから、令和7年度には人口の20% (令和7年人口推計値からの算出で25,900人) の参加率を目標値とし、令和4年度から毎年度0.56% (令和4年9月末時点人口算出で767人) の増加を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	地方創生 P89
目標 (%)	15.50	18.31	18.87	19.43	20.00		
実績 (%)	17.75	15.45	-	-	-	R4達成度	b
達成率	114.5%	84.3%	-	-	-		
細節		2 防災情報を発信する					
重要業績評価指標 (KPI)	災害メール配信サービスの登録者人数 (累積)						担当部課
☆目標値見直し							総務部危機対策課
指標の考え方	災害情報をいち早く発信するために有効な手段である災害情報メールの登録者人数を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 単年 2,002人、累積13,451人 令和3年度は新規625人の目標に対し実績は大きく越えたが、令和4年度の平均は月約30人程度で今後も同程度と考えられるため、毎年度360人の増加、令和7年度で累積14,891人を目標とする。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (人)	単年 625 累積 10,632	360 13,811	360 14,171	360 14,531	360 14,891		
実績 (人)	単年 2,002 累積 13,451	521 13,972	-	-	-	R4達成度	a
達成率	320.3%	144.7%	-	-	-		
細節		3 消防機能・交通安全を推進する					
重要業績評価指標 (KPI)	消防団資機材整備件数 (累積)						担当部課
☆目標値見直し							総務部危機対策課
指標の考え方	災害時に迅速に対応するため、消防団の資機材 (ポンプ置場、消防車両等) を計画的に更新・整備し、適切な維持管理を行う。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 単年18件、累積20件 消防組織体制の見直しと費用対効果を考慮し、毎年度令和3年度実績と同程度で整備を進める。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (件)	単年 24 累積 24	17 37	17 54	19 73	19 92		
実績 (件)	単年 18 累積 20	15 35	-	-	-	R4達成度	b
達成率	75.0%	88.2%	-	-	-		

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	1 住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち		
節	4 誰もが平等に生きるための男女共同参画社会の推進		
数値目標 (KGI) ★指標見直し	男女共同参画社会が推進されていると感じる市民の割合		
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 男女共同参画の社会づくり（①+②） ①[満足・どちらかといえば満足] 45.1% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 18.8%		
設定値 (%)	R3 (基準値)	⇒	R7(最終目標値)
	45.1	⇒	63.9

■節の達成状況

主な担当課	復興企画部地域振興課		
関係課			
令和4年度の主な取組や成果			
<p>男女共同参画の社会を実現するためには、これまで男性が多かった分野においても、女性の参画により女性ならではの視点や新たな意見を取り入れていくなど、社会のあらゆる意思決定の場において、男女が共に参画することが必要であることから、男女共同参画推進基本計画（第4次）に基づく各種施策について、関係各課と情報を共有しながら積極的に取り組んだ。具体的には、女性人材育成セミナーや女性活躍推進セミナーを開催し、地域において指導的立場で活躍できるよう女性のスキルアップを図った。さらに、女性活躍推進会議の見学会を実施し、市の審議会等においてどのような話し合いをしているのか、委員に選ばれた場合、どんなことをするのかなど、興味のある方に体験していただく機会を設け、人材の掘り起こしを行った。</p> <p>また、市内及び圏域事業者の管理職層や複数人をまとめる立場にある方、市職員（新任ポスト課長補佐）を対象にイクボス研修を実施し、男性の育児休業取得推進やワーク・ライフ・バランスの推進に向け、意識啓発を図ったほか、子育て参加促進事業として、市内中学校に通う中学生を対象に助産師の講義や妊婦疑似体験を実施し、妊婦への思いやりを育み、命の大切さ、子どもを産み育てることへの意識啓発を図った。</p>			
令和4年度における主な課題		改善した点・方向性	
① 各種審議会・委員会における女性委員の割合が伸び悩んでいる。	女性委員の登用促進を依頼したところであるが、職制により男性の多い職場から選出された審議会等では女性委員の割合が伸びず、全体の割合も伸ばすことができなかった。今後は更なる庁内意識の醸成を図るとともに、女性人材リストの活用や委員改選時における登録者の情報提供を積極的に行っていく。		
② 市男性職員の育児休業取得率が低い状況である。	イクボス研修の実施により、男性職員の育児休業取得に対する職場における理解が深まり、取得増加（6.7%⇒15.0%）につながった。今後も研修等を実施し、庁内、社会全体で子育てしやすい職場環境の整備を促進していく。		
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
C	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	△
			◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上

外部評価	主な意見
C やや遅れている	男女共同参画は、行政だけではなく、民間も巻き込んで、当然の概念として受け入れられるように、あらゆる機会を捉えて周知してほしい。

細節		1 政策・方針決定の場への女性の参画を推進する					
重要業績評価指標 (KPI)	審議会・委員会等に占める女性委員の割合 (単年)					担当部課	
						復興企画部地域振興課	
指標の考え方	庁内の審議会・委員会等の女性委員割合を増やし、政策・方針決定の場への女性の参画を推進する。						
目標値の考え方	○基準値：令和元年度 25.8% 男女共同参加基本計画において、計画最終年度となる令和7年度目標値を40%としている。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (%)	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0		
実績 (%)	28.0	27.8	-	-	-	R4達成度	C
達成率	70.0%	69.5%	-	-	-		
細節		2 社会のあらゆる分野における意識啓発を図る					
重要業績評価指標 (KPI)	「育児や家事の役割」について「夫婦同様」との回答割合 (単年)					担当部課	
						復興企画部地域振興課	
指標の考え方	セミナーや研修等を開催し、男女共同参画への理解を深めることで、社会のあらゆる分野における意識啓発を図る。						
目標値の考え方	○基準値：令和2年度 60.1% 男女共同参加基本計画において、計画最終年度となる令和7年度目標値を70%としている。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	地方創生 P87
目標 (%)	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0		
実績 (%)	49.9	66.1	-	-	-	R4達成度	b
達成率	71.2%	94.4%	-	-	-		

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	1 住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち		
節	5 持続可能な公共交通ネットワーク整備の推進		
数値目標 (KGI) ★指標見直し	公共交通ネットワークが整備されていると感じる市民の割合		
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 公共交通ネットワークの整備（①+②） ①[満足・どちらかといえば満足] 30.2% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 29.7%		
設定値 (%)	R3 (基準値)	⇒	R7 (最終目標値)
	30.2	⇒	59.9

■節の達成状況

主な担当課	復興企画部地域振興課		
関係課			
令和4年度の主な取組や成果			
公共交通に対する市民意識の改善として、市職員が率先してモビリティマネジメント（※）を実践するため、令和4年7月から12月の毎月第4金曜日を「公共交通チャレンジデー」として、通勤時の公共交通の利用に取り組み、職員の意識改善を図った。 公共交通の案内や誘導サインなど市民が感じている不便な点などを把握するため、65歳以上の市民、障害のある市民、子育て世代の市民、観光関係の業務に携わる市民及び市職員による意見交換会を開催し、ガイドライン作成に反映させることができた。 市民や来訪者等が公共交通の経路検索をしやすくなるように、市内の公共交通に関する情報（経路・ダイヤ・バス停位置など）をオープンデータ化した結果、様々な事業者がデータを取得することで経路検索コンテンツで常に新しい情報が検索可能となり、利用者の利便性向上につながった。 また、利用者の少ない桃生地区住民バスについて、重点地区の時期を前倒しし、桃生地区住民バス運行協議会と共に見直しを図り、令和5年度から開始するワンコインタクシーの実証運行に向けた準備を行った。 ※モビリティマネジメント：「過度に自動車に頼る状態」から、「公共交通や徒歩などを含めた多様な交通手段を適度に利用する状態」へと少しずつ変えていく一連の取組。			
令和4年度における主な課題		改善した点・方向性	
①	モビリティマネジメントを一般企業等に展開できていない。	市職員の実績を踏まえ、アンケートでモビリティマネジメントに興味を示している事業者に対して、情報提供を行うとともに参加を呼びかけていく。	
②	路線バスや住民バス等の運行情報が一部の経路検索コンテンツで反映されていない。	路線バスや住民バス等については、一部の経路検索コンテンツで検索できない状況にあるため、引き続き、各コンテンツへの反映を進めていく。	
③	桃生地区住民バスの利用者が低迷している。	地域住民の利便性向上、効率的な運行方法への転換に向け、運行ルートを見直し、再編を行った。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
A	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上

外部評価	主な意見
A 順調	住民バスの利用減少は桃生地区だけではない。再編を行った結果も知りたい。

細節		1 持続可能な公共交通体系を構築する						
重要業績評価指標 (KPI)	公共交通利用促進事業実施回数 (累積)						担当部課	
							復興企画部地域振興課	
指標の考え方	学生や市民を対象に、本市の公共交通に係るワークショップやヒアリング、意見交換会等を実施することにより、公共交通機関を身近なものに感じてもらうとともに、利用方法を学ぶことで公共交通の利用者増加を図る。							
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 3回 総合交通計画に基づき、毎年度2回程度の実施を維持する。							
設定値 (単位)		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (件)	単年 累積	2 2	2 4	2 6	2 8	2 10		
実績 (件)	単年 累積	3 3	3 6	-	-	-	R4達成度	a
達成率		150.0%	150.0%	-	-	-		
細節		2 市民生活を支える公共交通等を安定的に維持する						
重要業績評価指標 (KPI)	公共交通ネットワーク充足率 (単年)						担当部課	
							復興企画部地域振興課	
指標の考え方	日常生活等を支える交通手段を確保するため、路線バス、住民バス及び乗合タクシー、牡鹿地区市民バスの公共交通ネットワークを維持する。							
目標値の考え方	○基準値：令和2年度 100% 現状の路線バスや住民バス・市民バスの路線を基本 (100%) とし、今後も継続した維持確保を行う。							
設定値 (単位)		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (%)		100	100	100	100	100		
実績 (%)		100	100	-	-	-	R4達成度	a
達成率		100.0%	100.0%	-	-	-		

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	1 住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち		
節	6 未来につなぐ震災伝承の推進		
数値目標 (KGI) ★指標見直し	震災を後世に伝える取組が推進されていると感じる市民の割合		
目標値の考え方	○参考値：令和4年4月～11月（震災遺構門脇小学校 施設利用者アンケート） 施設の満足度（①+②） ①[大変良い] 79.3% ②[①以外]×1/2 9.2%		
設定値 (%)	R4 (基準値)	⇒	R7(最終目標値)
	79.3	⇒	88.5

■節の達成状況

主な担当課	総務部震災伝承推進室		
関係課			
令和4年度の主な取組や成果			
<p>震災遺構門脇小学校では、定期的な「館内無料ガイド」や「語り部の話を聞く会」の実施のほか、リボンアート・フェスティバルのパスポート購入者割引（8/20～10/2の間で653人入館）や、「3.11追悼イベント夜間特別開館」（1,033人入館）など、関係機関等との連携事業により来訪者の増加を図った結果、令和4年度来訪者数は、38,957人となった。震災遺構大川小学校では、令和5年3月11日に「大川竹あかり」等のイベントがあり、3,888人もの方々が訪れ年間来訪者数は、77,563人となった。</p> <p>また、令和4年度は、震災伝承関係者における顔の見える関係づくりの場を創出するため、令和5年3月25日に「石巻防災・震災伝承のつどい」を開催したところ、18団体総勢160人の参加につながったことから、市内で活動する防災・震災伝承関係団体の連携を深めるとともに、防災・震災伝承の活動について市民に伝えることができた。</p> <p>情報発信については、各種会議やフォーラムに参加し施設のPRを図った。また、遺構施設や伝承活動、伝承関係団体を紹介するホームページを開設し、SNSでの情報発信を行う基盤を作った。</p>			
令和4年度における主な課題		改善した点・方向性	
① 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、来訪者数が伸び悩んでいる。		関係機関等との連携を図り、入館料の割引やイベント等を実施し、来訪者の増加につなげた。	
② 市内小中学生の来館者が少ない。		指定管理者と連携し、小学校2校、中学校1校にバス料金の補助を行い防災学習の場として活用を図った。また、宮城県教育委員会主催のフォーラムに参加し、防災学習の場として活用していただけるよう施設紹介を行った。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
B	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	○ ◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上

外部評価	主な意見
B 概ね順調	学校教育の一環で授業の中で取り組むべき。市内全校の何年生かを対象に伝承館・遺構見学を実施すべき。

細節	1 震災伝承を推進する							
重要業績評価指標 (KPI)	震災遺構来訪者数 (単年)						担当部課	
★指標見直し							総務部震災伝承推進室	
指標の考え方	震災遺構来訪者数を増やし、東日本大震災の経験や教訓を多くの人々に伝え続ける。							
目標値の考え方	○大川小：令和3年7月開場 令和3年度 49,245人 門脇小：令和4年4月開場 年間の来訪者を門脇小58,000人（月4,800人）、大川小80,000人（月6,600人）を目標とし、企画展の開催や常設展示の更新等により維持を目指す。							
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	地方創生 P83	
目標 (人)	45,000	138,000	138,000	138,000	138,000			
実績 (人)	49,245	116,520	-	-	-	R4達成度	b	
達成率	109.4%	84.4%	-	-	-			

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	2 都市と自然が調和し快適とやすらぎが生まれるまち		
節	1 豊かな自然環境の保全・生活環境の充実		
数値目標 (KGI) ★指標見直し	環境保全対策が充実していると感じる市民の割合		
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 森林や河川、海などの自然環境の保全・活用（①+②） ①[満足・どちらかといえば満足] 48.7% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 20.3%		
設定値 (%)	R3 (基準値)	⇒	R7(最終目標値)
	48.7	⇒	69.0

■節の達成状況

主な担当課	市民生活部環境課		
関係課			
令和4年度の主な取組や成果			
<p>本市の自然環境や都市環境、大気環境や水環境等について取りまとめた「令和4年度版 石巻の環境」を公表し、変化していく環境を把握するとともに、市の活動について広く市民に周知することができた。</p> <p>また、磯観察&ビーチクリーンや自然観察会、木育講座等を通して自然環境について体験しながら学ぶ環境市民講座や、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止を余儀なくされていた環境フェアを3年ぶりに開催し、多くの市民に環境イベントに参加いただくことで環境保全意識の向上につなげることができた。</p> <p>清掃奉仕活動においては、町内会等へ継続的に清掃活動を働きかけたほか、実施団体へ支援や助成を行うことにより、清掃活動実施団体が増加し、環境美化意識の向上を図った。</p>			
令和4年度における主な課題		改善した点・方向性	
①	河川の水質調査の結果が良好であるにも関わらず、アンケート調査結果が低迷している。	環境フェアや環境市民講座にて環境保全に取り組む団体の展示やワークショップ、環境保全に関する講座を開催し、環境について考えるきっかけ作りに取り組んだ。引き続きPR活動を実施し環境保全意識の向上を図る。	
②	一部のエリアでポイ捨てごみが見受けられるなど、環境美化意識が広く浸透していない。	引き続きポイ捨て禁止キャンペーン等において清掃活動の働きかけを実施するとともに、実施団体への支援や助成により環境美化意識の向上と参加人数の増加を図る。	
③	太陽光発電等補助金については、申請数が多く年度途中で申請受付を終了している。	令和5年度から補助金額を見直すことにより、より多くの補助申請に対応することが可能となり、太陽光発電の利用を促進することができる。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
B	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	○
			◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上

外部評価	主な意見		
B	ごみのポイ捨てを禁止する罰則つき条例は制定できないか。		
概ね順調			

細節		1 自然環境保全の普及・啓発を行う					
重要業績評価指標 (KPI)	★指標見直し 「地球温暖化」に関心がある市民の割合 (単年)						担当部課
							市民生活部環境課
指標の考え方	環境イベント (環境フェア) や環境市民講座等により意識啓発を図り、「地球温暖化」への関心を持つ市民の割合を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 72.1% 国の温室効果ガスの排出量を2050年までに実質ゼロにする目標に向けて、2030年 (令和12年) までに2013年 (平成25年) 比で46%削減する必要があることから、2030年 (令和12年) までに「地球温暖化」に関心がある市民の割合を90%まで引き上げるため、毎年度2%ずつの増加を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7 (最終)	再掲	
目標 (%)	-	74.0	76.0	78.0	80.0		
実績 (%)	72.1	76.7	-	-	-	R4達成度	a
達成率	-	103.6%	-	-	-		
細節		2 生活環境を保全する					
重要業績評価指標 (KPI)	★指標見直し 環境に配慮した生活を行っているという回答した市民の割合 (単年)						担当部課
							市民生活部環境課
指標の考え方	自治会等の清掃奉仕活動実施団体を増やすことにより環境意識向上を図り、環境に配慮した生活を行う市民の割合を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 69.9% 令和7年度に環境に配慮した生活を行う市民の割合を78.0%まで引き上げるため、毎年度2%ずつの増加を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7 (最終)	再掲	
目標 (%)	-	72.0	74.0	76.0	78.0		
実績 (%)	69.9	71.9	-	-	-	R4達成度	b
達成率	-	99.8%	-	-	-		
細節		3 再生可能エネルギー等を有効活用する					
重要業績評価指標 (KPI)	★指標見直し 再生可能エネルギーによる発電量 (単年)						担当部課
							市民生活部環境課
指標の考え方	再生可能エネルギーを有効活用するため、太陽光システム、蓄電池、HEMS (家庭用エネルギー管理システム) 設置に係る支援を行い、再生可能エネルギーによる発電量を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和元年度 18,773千kWh 令和7年度に 28,500千kWhを目指し、毎年度2,000千kWhずつ増加を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7 (最終)	再掲	
目標 (千kWh)	-	22,500	24,500	26,500	28,500		
実績 (千kWh)	20,520	21,367	-	-	-	R4達成度	b
達成率	-	94.9%	-	-	-		

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	2 都市と自然が調和し快適とやすらぎが生まれるまち		
節	2 持続可能な社会を目指すごみの減量化と資源循環の推進		
数値目標 (KGI) ★指標見直し	ごみの減量化・リサイクルが推進されていると感じる市民の割合		
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） ごみ収集や処理、減量化などのごみ対策（①+②） ①[満足・どちらかといえば満足] 71.0% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 11.5%		
設定値 (%)	R3 (基準値)	⇒	R7 (最終目標値)
	71.0	⇒	82.5

■節の達成状況

主な担当課	市民生活部廃棄物対策課		
関係課			
令和4年度の主な取組や成果			
ごみの減量化を推進するため、燃やせるごみとして排出される「生ごみ」の水切り啓発と併せ、生ごみ減量容器購入に対する補助事業を実施し、家庭での生ごみ排出量の削減につなげた。 ごみの再資源化を推進するため、ごみ総量の7割以上を占める家庭系ごみの継続的な分別指導を実施するとともに、3R（リデュース・発生抑制、リユース・再利用、リサイクル・再生利用）の推進について、出前講座の開催や広報紙等による啓発活動を通じて、リサイクル意識の向上につなげた。			
令和4年度における主な課題		改善した点・方向性	
①	再生資源集団回収団体数及び回収量が減少している。	コロナ禍による市民活動の制約が令和3年度よりも緩和されたものの、団体数及び回収量は回復しなかった。今後も引き続き、町内会等へのPR方法を工夫し、制度の周知を図っていく。	
②	プラスチックの分別収集・処理スキームを検討する。	事業手法等の詳細設計に役立てるため、民間事業者の意見を伺う市場調査を実施した。今後は、その調査結果や令和5年度実施予定の実証実験等を基に、収集・処理スキームの検討を進めていく。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
C	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	△
			◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上

外部評価	主な意見
C やや遅れている	令和5年度より仙台市においてプラスチック製容器包装に加え、製品プラスチックの分別収集が開始された。燃えるごみに分類して焼却するには忍びない容器等が多々あり、石巻市でも収集できるように努力してほしい。

細節		1 ごみ減量化を推進する					
重要業績評価指標 (KPI)	市民一人あたりのごみ排出量 (単年)						担当部課
							市民生活部廃棄物対策課
指標の考え方	市民の意識醸成、再資源を促進し、市民一人あたりのごみ排出量を減らす。(発生抑制)						
目標値の考え方	○基準値：令和元年度 1,054g/人・日 一般廃棄物処理基本計画に基づき、令和7年度までに基準値から74g/日の削減を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (g/人・日)	1,029	1,017	1,004	992	980		
実績 (g/人・日)	1,051	1,059	-	-	-	R4達成度	b
達成率 ※	97.9%	96.0%	-	-	-		
細節		2 再資源化を推進する					
重要業績評価指標 (KPI)	家庭系ごみリサイクル率 (単年)						担当部課
							市民生活部廃棄物対策課
指標の考え方	ごみ総量の7割以上を占める家庭系ごみの分別を徹底し、家庭系ごみのリサイクル率を上げる。(再使用、再生利用)						
目標値の考え方	○基準値：令和元年度 12.1% 一般廃棄物処理基本計画に基づき、令和7年度までに基準値から2.8%の増加を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (%)	13.0	13.5	13.9	14.4	14.9		
実績 (%)	10.2	9.7	-	-	-	R4達成度	c
達成率	78.4%	71.8%	-	-	-		

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	2 都市と自然が調和し快適とやすらぎが生まれるまち		
節	3 安全安心な住環境と都市機能の整備の推進		
数値目標 (KGI) ★指標見直し	住環境と都市機能の整備が推進されていると感じる市民の割合		
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 今後の居住意向（①+②） ①[今の場所（住所）にずっと住み続けたい・当分の間は今の場所に住み続けたい ・市内の別な場所（住所）に移りたい] 87.6% ②[一度市を離れるが、ゆくゆくは戻ってきたい・できれば市外に移りたい ・すぐにでも市外に移りたい]×1/2 5.0%		
設定値 (%)	R3 (基準値)	⇒	R7(最終目標値)
	87.6	⇒	92.6

■節の達成状況

主な担当課	建設部都市計画課		
関係課	建設部河川港湾高規格道路整備推進課、建設部道路課、建設部住宅課、建設部建築指導課、建設部下水道建設課		
令和4年度の主な取組や成果			
<p>全国各地で頻発する地震に備え、危険ブロック塀については、戸別訪問等の実施により、目標を超える135件の除去が完了し、事故の未然防止に備えた。</p> <p>市営住宅から復興公営住宅への移転については、目標件数には届かなかったものの、過年度に移転を見送っていた世帯に対しても移転意向の確認を行い、希望に沿った住宅の確保に努め、事業の推進に取り組んだ。令和3年度から開始した空き家バンク制度については、SNSにより情報発信を行い、新たに8件の物件が登録され、これまで登録した物件のうち4件が成約に結び付いた。</p> <p>市民生活や経済活動を支える道路や下水道、公園施設の整備及び改良を計画的に推進し、概ね目標どおりに進捗した。</p> <p>また、石巻港の取扱貨物量は、利用促進につながるPR活動等の取組により前年より増加したものの、目標を達成できなかった。しかしながら、長年要望してきた雲雀野地区への耐震強化岸壁の整備が令和5年度から予算化されたことにより、今後の貨物量増加と港湾背後地の更なる発展が期待される。</p>			
令和4年度における主な課題		改善した点・方向性	
① 各制度について一定の理解されてはいるものの、より一層の周知が必要である。		戸別訪問や、各種媒体を通じた周知のみならず、関係課とも連携し、引き続き、より幅広い情報発信を行っていく。	
② 新型コロナウイルス感染症の影響により、一部工事の工期に変更が生じた。		市民生活に直結することから、早期の完了を目指しており、工程のキャッチアップ等による工程の短縮に努めた。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
C	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	△ ◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上

外部評価	主な意見
C やや遅れている	空き家バンクサイトを拡充すべき。

細節		1 持続可能な生活基盤整備を推進する					
重要業績評価指標 (KPI)	立地適正化計画進捗率 (累積)						担当部課
							建設部都市計画課
指標の考え方	立地適正化計画の策定により、生活サービス機能と居住を集約・誘導することで人口を集積し、まちづくりと連携した公共交通ネットワークの再構築により持続可能な生活基盤を整備する。						
目標値の考え方	令和5年度の策定を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (%)	30	100	100	-	-		
実績 (%)	30	60	-	-	-	R4達成度	
達成率	100.0%	60.0%	-	-	-		C
細節		2 災害に対する備えを充実させる					
重要業績評価指標 (KPI)	危険ブロック塀等除却事業助成件数 (単年) ★目標値見直し						担当部課
							建設部建築指導課
指標の考え方	災害時の通行人の安全を確保するため、危険ブロック塀等除去件数を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 113件 これまでの実績の検証、危険ブロック塀所有者への戸別訪問等により、令和4年度は110件、それ以降は毎年度100件を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (件)	100	110	100	100	100		
実績 (件)	113	135	-	-	-	R4達成度	
達成率	113.0%	122.7%	-	-	-		a
細節		3 安全安心な公営住宅を提供する					
重要業績評価指標 (KPI)	移転計画に基づく市営住宅から復興公営住宅等への移転世帯数 (累積) ★指標見直し						担当部課
							建設部住宅課
指標の考え方	耐用年限が経過した公営住宅の用途廃止を推進し、適正な公営住宅の戸数を管理・確保するとともに、復興公営住宅を有効活用するため、既存の市営住宅から復興公営住宅等への移転件数を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 単年35件 累積53件 令和2年度事業開始。今後も同程度の実績で推移することが見込まれることから、毎年度40件の移転を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (件)	単年 累積	40 93	40 133	40 173	40 213		
実績 (件)	単年 累積	35 53	28 81	-	-	R4達成度	
達成率		- 70.0%	-	-	-		C

細節		4 空き家対策を強化する							
重要業績評価指標 (KPI)							担当部課		
☆目標値見直し		空き家バンク登録戸数 (累積)					建設部住宅課		
指標の考え方		空き家を有効活用するため、空き家物件情報をホームページ上などで提供する「空き家バンク」の登録戸数を増やす。							
目標値の考え方		○基準値：令和3年度 9件 令和3年度事業開始。登録に関する相談は多く寄せられているが、未登記や未相続等が課題となっていることから、今後も同程度の登録戸数が見込まれるため、毎年度10件の登録を目指す。							
設定値 (単位)		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲		
目標 (件)	単年 累積	20 20	10 19	10 29	10 39	10 49			
実績 (件)	単年 累積	9 9	8 17	- -	- -	- -	R4達成度	b	
達成率		45.0%	80.0%	-	-	-			
細節		5 道路整備を推進する							
重要業績評価指標 (KPI)							担当部課		
★指標見直し		幹線市道の改良率 (単年)					建設部道路課		
指標の考え方		幹線市道の道路改良率を向上させる。 ※道路改良率=改良済延長/道路実延長 ※幹線市道：1級及び2級市道							
目標値の考え方		○基準値：令和3年4月1日現在 86.7% 県内平均 令和3年3月31日現在 88.3% 県内平均を目標に令和7年度までに87.0%を目指す。 ※平成29年度から令和3年度まで (5年間) の延長進捗率0.1%							
設定値 (単位)		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲		
目標 (%)		-	86.8	86.8	86.9	87.0			
実績 (%)		86.7	87.1	-	-	-	R4達成度	a	
達成率		-	100.3%	-	-	-			
細節		6 公園整備を推進する							
重要業績評価指標 (KPI)							担当部課		
★指標見直し		長寿命化計画に基づく公園施設更新施設数 (累積)					建設部都市計画課		
指標の考え方		公園施設の安全確保と機能保全のため、長寿命化計画に基づき公園施設の更新を計画的に進める。							
目標値の考え方		公園施設長寿命化計画に基づき更新施設数を設定した。							
設定値 (単位)		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲		
目標 (施設)	単年 累積	- -	42 42	13 55	21 76	24 100			
実績 (施設)	単年 累積	0 0	50 50	- -	- -	- -	R4達成度	a	
達成率		-	119.0%	-	-	-			

細節		7 下水道等の整備を推進する					
重要業績評価指標 (KPI)	公共下水道 (污水) 整備率 (累積) ★指標見直し						担当部課
							建設部下水道建設課
指標の考え方	生活環境の改善や公共用水域の水質保全と公衆衛生の向上を図るため、公共下水道の整備を推進する。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度65.3% 毎年度24.3haを目標に整備を推進する。全体計画面積に対する整備済面積で算出。 ※平成23年度から令和2年度まで(10年間)の平均整備面積24.3ha						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (%)	-	65.9	66.5	67.0	67.6		
実績 (%)	65.3	65.7	-	-	-	R4達成度	b
達成率	-	99.6%	-	-	-		
細節		8 河川・港湾の整備を推進する					
重要業績評価指標 (KPI)	石巻港取扱貨物量 (単年) ☆目標値見直し						担当部課
							建設部河川港湾高規格道路整備推進課
指標の考え方	東北全体に及ぶ原材料、飼料の物流拠点である石巻港において、生活・産業の安定・拡大のために、取扱量拡大のための取組を行う。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 337万t (令和2年総取扱量) 現状の実績から取扱増加量(期待値)を想定し、500万tとした。 ※令和4年度実績値：令和3年総取扱量						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (万t)	440	378	419	460	500		
実績 (万t)	337	357	-	-	-	R4達成度	b
達成率	76.5%	94.4%	-	-	-		

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	3 共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち		
節	1 安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実		
数値目標 (KGI)	妊娠・出産・子育てができる環境が充実していると感じる市民の割合		
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 育児相談やワークライフバランスの充実などの子育て支援（①+②） ①[満足・どちらかといえば満足] 50.0% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 17.6%		
設定値 (%)	R3 (基準値)	⇒	R7(最終目標値)
	50.0	⇒	67.6

■節の達成状況

主な担当課	保健福祉部子ども保育課		
関係課	保健福祉部健康推進課、保健福祉部子育て支援課		
令和4年度の主な取組や成果			
<p>新生児訪問事業では、保健師又は助産師が家庭訪問し、乳児及び産婦の健康状態や養育状況の確認、育児に関する相談を実施し、未熟児訪問も併せて実施した。また、産後うつ病の早期発見のため、エジンバラ産後うつ病質問票を用いて睡眠や食欲などの確認も行った結果、育児不安や疾患等、支援が必要な産婦や乳児に対して、家庭訪問や電話相談による支援を行い、育児不安等の解消を図った。</p> <p>子育て世帯の相談窓口である「いっしょえきまえ」「いっしょへびた」において、令和4年9月から来所する妊産婦に対し産前産後プランの作成を開始した。相談員と一緒にプランを作成し出産前後の行動計画と利用できるサービスを把握いただいたことで、核家族化が進み、出産に対し不安を抱えている妊産婦の安心につながった。</p> <p>放課後児童クラブでは、石巻・渡波・中里・須江の4地区8クラブにおいて民間委託を進め、人材の確保及び支援員の資質向上を図ることで、安定的な保育の受け皿を確保したとともに、民間事業者が行う放課後児童クラブに対する補助内容を拡充し、待機児童の減少を図った。</p> <p>また、保育士確保のため、市内保育施設に就労する28人の保育士に就労一時金を交付したほか、令和5年2月に第2期公立幼稚園・保育所・こども園再編計画を策定した。計画的に施設の統廃合や民間誘致を行うことで、今後、保護者のニーズに即した保育サービスの向上を図っていく。</p>			
令和4年度における主な課題		改善した点・方向性	
①	少子化により対象数は減少しているが、エジンバラ産後うつ病質問票によるハイリスク者は一定数みられる。	産婦健診受診後の医療機関からの連絡票により、早い時期に新生児訪問を実施し、関係機関につなぐことで、産後うつ病の予防や育児不安の改善を図っている。	
②	妊娠期から子育て期にかけて、利用できるサービスが分からないという声があるほか、マタニティブルーや産後うつを予防するため、サービス利用につなげていくことが課題である。	令和5年3月末、133件のマイプランを作成し、各種サービスの理解と利用につながっており、今後も推進していく。	
③	保育士等の人材が不足している。	再編計画に基づき、人材を安定確保することで、必要なサービスを継続的に実施する。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
A	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上

外部評価	主な意見
A 順調	子育て支援は充実しているように感じるが、保育士人材が不足している問題は対策を講じてほしい。

細節		1 妊娠から出産、子育て期における切れ目のない支援を行う					
重要業績評価指標 (KPI)	新生児訪問事業（乳児全戸訪問事業）実施率（単年）						担当部課
							保健福祉部健康推進課
指標の考え方	出産から子育て期の継続的な支援を行うため、新生児の訪問事業（保健師による生後4ヶ月未満の赤ちゃんがいる世帯への訪問事業）の実施率を上げる。						
目標値の考え方	○基準値：令和元年度 98.3% 対象期間中に里帰り出産等で訪問できない世帯があるが、それ以外の世帯へ訪問を実施する。						
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	地方創生 P86
目標（%）	98.5	98.5	98.5	98.5	98.5		
実績（%）	94.4	98.8	-	-	-	R4達成度	a
達成率	95.8%	100.3%	-	-	-		
細節		2 子どもを産み育てやすい環境づくりを推進する					
重要業績評価指標 (KPI)	★指標見直し 子育て世代包括支援センター相談窓口における妊産婦に対する産前産後プランの作成数（単年）						担当部課
							保健福祉部子育て支援課
指標の考え方	妊産婦に対し、妊娠期から子育て期までの準備や利用サービス、各種健診を把握してもらい、産み育てやすい環境をつくる。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 対象となる妊産婦相談者数 66人 令和4年9月開始。年間出生数の約2割となる140人へのプランの作成を目指す。（いっしょえきまえ70人、いっしょへびた70人）						
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標（件）	-	70	140	140	140		
実績（件）	-	133	-	-	-	R4達成度	a
達成率	-	190.0%	-	-	-		
細節		3 子どもが安心して過ごせる環境を整備する					
重要業績評価指標 (KPI)	保育施設及び放課後児童クラブ待機児童数（単年）						担当部課
							保健福祉部子ども保育課 保健福祉部子育て支援課
指標の考え方	保育施設等の待機児童数を減少させ、子育て環境を充実させる。						
目標値の考え方	○基準値：令和2年度（4月時点） 保育施設12人、児童クラブ170人 保育施設や放課後児童クラブへ申請したものの、定員超過等のため入所・入級できない児童が発生しないよう毎年度0人を目指す。						
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	地方創生 P86
目標（人） <small>保育施設 児童クラブ</small>	0	0	0	0	0		
実績（人） <small>保育施設 児童クラブ</small>	8 5	3 0	-	-	-	R4達成度	a
達成率	-	-	-	-	-		

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	3 共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち		
節	2 生きがいを持ち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実		
数値目標 (KGI)	高齢者福祉が充実していると感じる市民の割合		
目標値の考え方	○基準値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 高齢者・障がい者への福祉サービスの質の向上（①+②） ①[満足・どちらかといえば満足] 48.2% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 21.8%		
設定値 (%)	R3 (基準値)	⇒	R7(最終目標値)
	48.2	⇒	70.0

■節の達成状況

主な担当課	保健福祉部介護福祉課		
関係課			
令和4年度の主な取組や成果			
<p>「生きがい」を持ちながら暮らしている高齢者の割合について、市民意識調査の結果では70.1%となっており、ほぼ前年度と同様の結果であった。</p> <p>生きがいづくりを目的とした「高齢者の生きがいと創造の事業」では、専門講師による講座を開講し、知識と経験を活かした創造的活動ができる場を提供した。徹底した新型コロナウイルス感染症対策を講じながら実施したことで、受講者数は令和3年度より増加し、高齢者の生きがいづくりを支援することができた。</p> <p>介護予防の取組の推進を目的として行っている「機能訓練訪問事業」については、理学療法士が、日常生活動作が低下した高齢者に、短期集中的に訪問し、対象者の問診・指導・評価を実施したことで、身体機能の低下を防止、生活機能の向上が図られた。また、前年度よりも訪問指導員の訪問回数が増加したことで、対象者がより正しく体操を習得することができた。令和4年度より、地域ケア会議に理学療法士等のリハビリ専門職及び薬剤師や栄養士を派遣したことで、介護専門職等の介護予防に関する知識・技術の習得を図った。</p> <p>高齢者の生活支援については、在宅で生活する高齢者の方に対して、日常生活で必要となる介護保険制度以外のサービス等を提供することにより、安心して暮らせるよう支援できた。</p>			
令和4年度における主な課題		改善した点・方向性	
① コロナ禍により、生きがいと創造事業や老人クラブ事業等の活動回数や参加者数が減少しているほか、介護予防事業の休止や規模の縮小により、高齢者の活動自粛による健康への影響が懸念される。		総合支所と協議し、各事業における活動の拡大につなげたとともに、関係機関との各種会議等において、コロナ禍による高齢者の活動自粛等に伴う健康二次被害やフレイル予防の重要性について周知した。今後も、高齢者の社会参加の促進について、関係機関と連携していく。	
② 高齢者在宅福祉サービス事業利用について、サービスを必要としている高齢者へ漏れなく提供することが課題である。		定期的な広報やホームページでの周知に加え、各種会議等で事業について、関係機関への説明と周知を図った。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
B	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	○
			◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上

外部評価	主な意見		
B	高齢者が楽しんで参加できるイベントをもう少し増やしてほしい。		
概ね順調			

細節		1 高齢者の生きがいを推進する					
重要業績評価指標 (KPI)	「生きがい」を持ちながら暮らしている高齢者の割合 (単年)						担当部課
★指標見直し							保健福祉部介護福祉課
指標の考え方	高齢者の心身の健康維持や向上を図るためには、日々の生活の中で「生きがい」を持つことが重要であることから、「生きがい」を持つ高齢者の割合を高める。						
目標値の考え方	○基準値：令和2年度 67.7% 策定時において、第3期石巻市地域福祉計画（平成29年度～令和3年度）の目標値を達成していなかったため、同目標値とした。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	地方創生 P91
目標 (%)	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0		
実績 (%)	70.8	70.1	-	-	-	R4達成度	b
達成率	88.5%	87.6%	-	-	-		
細節		2 介護予防等の取組を推進する					
重要業績評価指標 (KPI)	理学療法士の訪問回数 (単年)						担当部課
★指標見直し							保健福祉部介護福祉課
指標の考え方	高齢者が在宅で自立した生活を送れるように支援するため、対象者への身体等の評価や体操指導を行う理学療法士による訪問回数を維持する。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 104回 理学療法士の所属事業所との契約において、訪問回数は3～6か月の間に3～6回程度の訪問と定めており、対象者を20名程度と想定した。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (回)	-	120	120	120	120		
実績 (回)	104	105	-	-	-	R4達成度	b
達成率	-	87.5%	-	-	-		
細節		3 高齢者の生活支援を推進する					
重要業績評価指標 (KPI)	高齢者在宅福祉サービス事業利用者件数 (単年)						担当部課
★指標見直し							保健福祉部介護福祉課
指標の考え方	高齢者とその家族へ支援を行うため、高齢者在宅福祉サービス事業（寝具洗濯、バリアフリー補助、タクシー券、日常生活用具給付、訪問理美容）の利用者数を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和元年度 885件 近年の最大値である平成28年度の利用者件数1,189件を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (件)	1,162	1,190	1,190	1,190	1,190		
実績 (件)	997	1,023	-	-	-	R4達成度	b
達成率	85.8%	85.9%	-	-	-		

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	3 共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち		
節	3 共に安心して暮らせる障害福祉の充実		
数値目標 (KGI)	障害者にやさしいまちづくりが推進されていると感じる市民の割合		
目標値の考え方	○基準値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 高齢者・障がい者への福祉サービスの質の向上（①+②） ①[満足・どちらかといえば満足] 48.2% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 21.8%		
設定値 (%)	R3 (基準値)	⇒	R7(最終目標値)
	48.2	⇒	70.0

■節の達成状況

主な担当課	保健福祉部障害福祉課		
関係課			
令和4年度の主な取組や成果			
<p>障害者総合支援法に基づき、障害者等がその能力・適性に応じ、自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう、必要な障害福祉サービスの給付を継続して行ったほか、障害者及びその家族からの日常の困りごとや福祉サービスに関すること等の多様な相談に応じ、必要な情報の提供及び専門的な相談支援を継続して行い、障害者等が地域で暮らしていくために必要なサービスの提供や支援につなげることができた。</p> <p>また、生活の質の変化やニーズの多様化に合わせて日常生活用具の給付種目を見直し、「暗所視支援眼鏡」や、「情報・通信支援用具」の対象にタブレット端末及びスマートフォン利用時の周辺機器、アプリケーションを追加したほか、令和5年度から人工呼吸器や酸素濃縮器等の電気式医療機器に使用する正弦派インバーター発電機及びポータブル電源（蓄電池）を追加するための調査等を実施し、障害者の生活の質の向上と安全安心の確保に取り組んだ。</p> <p>さらに、障害に対する理解促進を図るため、出前講座のメニューに障害者スポーツ（ボッチャ）を体験する「障害者とレッツスポーツ！」を追加したほか、令和4年12月27日には、地域で共に支え合う市民意識の醸成を図ることを目的に、子どもの貧困や児童虐待及び障害を理由とする差別に関する講演会を開催し、一般市民、児童福祉・障害福祉関係者ら157人に参加いただき、障害がある人への理解を深める啓発活動に取り組んだ。</p>			
令和4年度における主な課題		改善した点・方向性	
① 障害者自立支援給付事業において、公平かつ適正なサービスの支給を行うため、支給決定基準を定め令和3年4月から運用しているが、異なる解釈をされてしまう表現となっており、利用者への影響が生じていた。		支給決定基準について、各相談支援事業所から改善点等を含めた意見を聞き、文言の修正や解釈の共通化を図ることにより、利用者への最適なサービス提供へとつなげた。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
B	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	○
			◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上

外部評価	主な意見		
B 概ね順調	実績の数値だけ見れば悪くないように見えるが、本人や周りが望む需要に対しての供給がマッチしているかが見えないと、当事者が満足しているかは判断できない。		

細節		1 障害者の自立と社会参加への支援を行う					
重要業績評価指標 (KPI)	障害福祉サービス利用人数 (単年)						担当部課
★指標見直し							保健福祉部障害福祉課
指標の考え方	障害のある人が住み慣れた地域で自立した生活を継続するため、障害福祉サービスの利用人数を増やし、ライフステージに応じた切れ目のない支援を行う。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 1,477人 障害者手帳所持者が減少傾向にあることから、近年のサービス利用実績の推移に基づき利用人数を算出し、併せて障害者の利用ニーズ等を勘案し数値設定した。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (人)	1,577	1,601	1,627	1,647	1,668		
実績 (人)	1,477	1,567	-	-	-	R4達成度	b
達成率	93.6%	97.8%	-	-	-		
細節		2 相談・地域生活支援体制を構築する					
重要業績評価指標 (KPI)	障害者相談支援件数 (単年)						担当部課
							保健福祉部障害福祉課
指標の考え方	必要な情報の提供及び権利擁護を行うため、相談・支援体制を充実させ、障害者相談支援件数を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和元年度 12,649件 令和7年度に向けて毎年度60件弱ずつ相談支援件数の増加を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (件)	12,700	12,775	12,858	12,925	13,000		
実績 (件)	12,053	11,953	-	-	-	R4達成度	b
達成率	94.9%	93.5%	-	-	-		

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	3 共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち		
節	4 誰もが元気に暮らせる心と体の健康づくりの推進		
数値目標 (KGI)	心と体の健康づくりが推進されていると感じる市民の割合		
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 生活習慣予防や食育など健康づくりの取り組み(①+②) ①[満足・どちらかといえば満足] 58.3% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 15.2%		
設定値 (%)	R3 (基準値)	⇒	R7(最終目標値)
	58.3	⇒	73.5

■節の達成状況

主な担当課	保健福祉部健康推進課		
関係課			
令和4年度の主な取組や成果			
心の健康づくりとして、コロナ禍を踏まえたオンラインでの研修会を取り入れ、大学生や学校関係者への研修を実施し、若者への心の健康づくりを推進した。 生活習慣病の発症・重症化予防に向けた取組では、保健師・栄養士等の専門職が連携し、健康教育や健康相談の場面で市の健康課題を共有するとともに、予防の要となる「健（検）診」「栄養・食生活」「身体活動・運動」について重点的に普及啓発を行ったほか、食育推進の取組では、規模を縮小したものの3年ぶりに食育健康フェスティバルを開催し、食育と健康増進の普及啓発を行った。 各種がん検診の受診率向上に向けて、受診しやすい環境を整備するため、本庁地区の胃がん・肺がん検診において保健区ごとに検診車を配車したほか、保健相談センターでの乳がん検診では、土曜日や夕方の日程を設けるなど多くの受診機会を確保した。また、総合支所地区では、地域実情を考慮して地区公民館等を会場とした総合検診とし、一部地域では送迎バスを運行した。受診者の利便性を確保したことにより、受診率の向上につながった。 休日における救急医療体制については、石巻市医師会、桃生郡医師会及び石巻歯科医師会と委託契約を締結し、休日等急患診療対策事業を実施することで体制の確保を図り、市民の急病に対する不安の解消と安心して暮らせる医療体制を維持することができた。			
令和4年度における主な課題		改善した点・方向性	
① がんによる死亡原因の上位に位置する胃がんの検診受診率が低い。		受診率の低い胃がん検診に焦点を当て、検診委託団体と協力し、検診申込未回答で国保資格者50～69歳の方へ、検診票を送付し受診を促す取組を実施した。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
A	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	◎
			◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上

外部評価	主な意見
A 順調	石巻地域はメタボリックシンドロームの方が多いと記憶している。市民に対して、もっと広く健康増進への啓発があっても良いのではないかと。

細節		1 健康づくりを推進する					
重要業績評価指標 (KPI)	各種がん検診受診率 (単年)						担当部課
							保健福祉部健康推進課
指標の考え方	がん死亡率が全国や県と比較して高い傾向にあることから、がん検診の受診率を上げ、早期発見・早期治療につなげる。						
目標値の考え方	○基準値：令和元年度 15.1% 各検診において平成28年度から令和元年度で最も多かった受診者数から毎年度1%ずつ増加を目指し、受診率で毎年度0.2~0.3%ずつ増加を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (%)	16.2	16.5	16.8	17.1	17.3		
実績 (%)	14.2	16.2	-	-	-	R4達成度	b
達成率	87.6%	98.1%	-	-	-		
細節		2 地域医療体制を充実させる					
重要業績評価指標 (KPI)	休日当番医実施率 (単年) ★指標見直し						担当部課
							保健福祉部健康推進課
指標の考え方	医療機関の当番制によって、休日・祝日における休日当番医を実施し、休日における救急患者の医療体制を確立する。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 100% 医療機関の休日における実施率100%を維持する。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (%)	-	100	100	100	100		
実績 (%)	100	100	-	-	-	R4達成度	a
達成率	-	100.0%	-	-	-		

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	3 共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち		
節	5 みんなが共に支え合う地域共生社会の実現		
数値目標 (KGI)	地域で支え合いが行なわれていると感じる市民の割合		
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 地域包括ケア体制の推進（①+②） ①[満足・どちらかといえば満足] 53.1% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 17.7%		
設定値 (%)	R3 (基準値)	⇒	R7 (最終目標値)
	53.1	⇒	70.8

■節の達成状況

主な担当課	保健福祉部保健福祉総務課		
関係課	保健福祉部総合相談センター		
令和4年度の主な取組や成果			
地域で助け合う体制づくりを進めるため、「地域互助活動促進事業」において助成期間の延長をしたことから、地域住民同士の顔の見える関係づくりと地域で支え合う市民意識の醸成が図られた。 また、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、地域包括ケアシステムを構築していく上で必要となる、医療・介護・福祉等の専門職の人材確保とさらなる定住促進が課題となっている現状を踏まえて、「奨学金返還支援事業」において必要な見直しを行っており、今後も、長期的な人材確保及び定住促進を図っていく。 家庭児童・母子相談及び市民の日常生活における複雑多様な相談窓口を一元化し、問題解決に向け各関係機関等と連携し適切な支援につなげることができた。また、弁護士による無料法律相談を定期的の実施することにより専門的事案について支援することができた。 講演会や出前講座等の実施のほか、各種会議やイベント等さまざまな機会をとらえ虐待防止のリーフレットや相談窓口周知用のチラシを広く配付し各種虐待の未然防止及び重症化を防ぐための啓発ができた。			
令和4年度における主な課題		改善した点・方向性	
①	地域互助活動促進事業は、地域住民の主体的な互助活動の促進を図るために活動費の助成を行っているが、利用条件のハードルが高く、これまで地域の自治会等からの申請がなかった。	事業に対する周知及び利用条件の緩和（月1回以上実施⇒年6回以上実施）を図ったことから、令和5年度は自治会等の新規申請が見込まれる。	
②	医療、福祉、介護等の専門職が不足している。	令和5年度の新規申請者から助成金額と対象期間の見直し（年度内返還額・最大20万円・最長3年⇒年度内返還額の1/2・最大10万・最長6年）を図り、長期的な人材確保及び定住促進を図る。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
A	○	◎	◎
	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない		◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上

外部評価	主な意見
A 順調	各々立場が似通った方たちの団体はあるが、様々な立場の方たちが互助していくのが社会のあり方だと感じる。そもそも活動費の助成制度が認知されていないように感じるので、アナウンスしていくべき。

細節		1 地域での孤立防止を推進する					
重要業績評価指標 (KPI)							担当部課
★目標値見直し	地域互助活動実施団体件数 (単年)						保健福祉部保健福祉総務課
指標の考え方	高齢者・障害者・子ども・生活困窮者を対象とした日常生活上の助け合い活動 (送迎支援、買物支援、見守り・声かけ支援等) を行う団体数を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和2年度 11件 令和5年度以降は同様の事業を整理統合し、申請実績のない自治会等に対して「互助」の意識醸成を図ることを目的として事業の見直しをすることから、これまでの実績に加え、新型コロナウイルス感染症の影響下においても地域活動に取り組んでいる団体の実績を勘案し目標値とした。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	地方創生 P91
目標 (件)	11	15	55	58	61		
実績 (件)	13	14	-	-	-	R4達成度	b
達成率	118.1%	93.3%	-	-	-		
細節		2 地域で支える活動と在宅医療・介護の連携を推進する					
重要業績評価指標 (KPI)							担当部課
★指標見直し	奨学金返還支援事業助成人数 (単年)						保健福祉部保健福祉総務課
指標の考え方	市内に居住し、市内の事業所に勤務する医療、福祉、介護等の専門職の方に対し、奨学金返還金を助成することにより、医療、福祉、介護人材を確保する。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 36人 これまでの実績に加え、年々申請者が増加傾向にあることから、新規申請者の増加を見込んだ目標値とした。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	地方創生 P79
目標 (人)	-	41	46	46	46		
実績 (人)	36	39	-	-	-	R4達成度	b
達成率	-	95.1%	-	-	-		
細節		3 各種相談事業を充実させる					
重要業績評価指標 (KPI)							担当部課
★指標見直し	弁護士無料法律相談者数 (単年)						保健福祉部総合相談センター
指標の考え方	複雑化・多様化する相談に対応するため、弁護士による無料相談を実施し、専門的事案を支援する。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 198人 平成30年度から令和3年度における弁護士無料法律相談の相談者数の平均値を参考に設定した。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (人)	-	189	189	189	189		
実績 (人)	198	200	-	-	-	R4達成度	a
達成率	-	105.8%	-	-	-		

細節		4 各種虐待防止・DV被害者支援を強化する						
重要業績評価指標 (KPI) ★指標見直し	虐待防止啓発活動参加者数 (単年)						担当部課	
							保健福祉部総合相談センター	
指標の考え方	虐待防止に係る啓発活動を実施し、虐待に対する市民の意識や理解を高め、虐待の未然防止や早期発見につなげる。							
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 88人 平成30年度から令和3年度における出前講座等の参加者数の平均値を参考にし、毎年度30人ずつ増加を目指す。							
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)			
目標 (人)	-	210	240	270	300	再掲		
実績 (人)	88	301	-	-	-	R4達成度		
達成率	-	143.3%	-	-	-	a		

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	4 多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち		
節	1 賑わいと活気にあふれる商工業の振興		
数値目標 (KGI)	商工業振興策が充実していると感じる市民の割合		
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 商工業の振興（①+②） ①[満足・どちらかといえば満足] 43.5% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 19.4%		
設定値 (%)	R3 (基準値)	⇒	R7(最終目標値)
	43.5	⇒	62.9

■節の達成状況

主な担当課	産業部商工課		
関係課			
令和4年度の主な取組や成果			
事業者の地域間競争力を高めることを目的として、新たな産業創出、研究開発、産業人材の育成等の創造的事業を行う事業者に対し産業創造助成金を交付した結果、各種展示会等への出展により、新たな取引先や顧客の獲得につながったほか、新たな製品開発のための研究、社員の意識向上につながる研修会が開催され、事業者の経営の高度化が図られた。 6次産業化・地産地消推進事業では、1次産業事業者の経営多角化・所得向上及び地場産業の振興を目的として、1次・2次・3次産業事業者がネットワークを形成して取り組む新商品開発や販路拡大等の取組に対して助成金を交付した結果、クラフトコーラの開発など、地域資源を活用した新商品開発が進められたほか、ECサイトや動画による販路拡大の取組が推進されるなど、農林漁業者と地域の様々な事業者との連携強化が図られ、地域資源の高付加価値化が促進された。 勤労者福祉サービスセンターにおいて、就業環境を向上させるため、効果的な福利厚生事業を実施したことにより事業参加者の増加につながった。 また、石ノ森萬画館、元気いちばにおいては、コロナ禍での制約が緩和されたことに加え、集客力を高める効果的なイベントの企画、実施により利用者数は増加した。			
令和4年度における主な課題		改善した点・方向性	
① 産業創造助成金において、コロナ禍の影響で、投資的、開発的事業が停滞している。		コロナ禍からのV字回復に寄与するため、新商品開発、販路開拓等の取組を促進すべく、市報やホームページの更新に加え、新たに市内商工会、商工会議所、金融機関等が参加する会議において制度周知を行った。	
② 6次産業化・地産地消推進助成金において、コロナ禍の影響で、1次・2次・3次事業者間の足並みが揃わない状況等が見受けられた。		6次産業化・地産地消推進センターとの連携により新規案件の掘り起こしやマッチング等を強化した結果、徐々にではあるが制度利用者が増加してきたことから、引き続き制度周知を行い、地域資源の高付加価値化を促進していく。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
C	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	△
			◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上

外部評価	主な意見
C やや遅れている	事業者間の連携によって産業創造助成金を活用できる「場」も広がると考えられるため、複数事業者での申請なども検討してほしい。

細節		1 事業者への経営支援を行う					
重要業績評価指標 (KPI) ★指標見直し	産業創造助成金交付による事業支援件数 (単年)						担当部課
							産業部商工課
指標の考え方	地域間競争力を向上させるため、事業者の新たな事業展開を支援・促進し、新規販路開拓や新商品開発等の事業活動を目的とした助成金を交付する。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 7件 人材育成、研究開発、情報提供、知的財産等取得事業の補助メニューに対し、2件ずつの申請を想定し設定した。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	地方創生 P78
目標 (件)	-	8	8	8	8		
実績 (件)	7	5	-	-	-	R4達成度	C
達成率	-	62.5%	-	-	-		
細節		2 就業環境の充実を図る					
重要業績評価指標 (KPI) ★指標見直し	勤労者福祉サービスセンターにおける共済給付・行事参加延べ人数 (単年)						担当部課
							産業部商工課
指標の考え方	中小企業に勤める方の就業環境を向上させるため、総合的な福祉事業をサポートする勤労者福祉サービスセンターの会員を対象に、自己啓発事業や健診事業等の福利厚生事業を実施する。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 5,123人 過去の実績を考慮したうえで、一人当たり3回程度の参加を想定し設定した。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (人)	-	7,750	7,750	7,750	7,750		
実績 (人)	5,123	7,160	-	-	-	R4達成度	b
達成率	-	92.3%	-	-	-		
細節		3 地域ブランドを育成する					
重要業績評価指標 (KPI) ★指標見直し	6次産業化・地産地消推進助成金を通じたブランド育成件数 (単年)						担当部課
							産業部商工課
指標の考え方	地域資源の高付加価値化を図るため、1次・2次・3次産業を営む事業者がネットワークを形成して取り組む新商品開発、販路開拓等のブランド育成に対する助成金を交付する。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 3件 6次産業化・地産地消推進助成金の交付件数を算出根拠としており、当該件数の目標値を10件と設定した為、その数値に準拠した形で目標値を10件と設定した。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (件)	-	10	10	10	10		
実績 (件)	3	8	-	-	-	R4達成度	b
達成率	-	80.0%	-	-	-		

細節		4 中心市街地活性化を推進する						
重要業績評価指標 (KPI)	石ノ森萬画館・元気いちば利用者数 (単年)						担当部課	
							産業部商工課	
指標の考え方	中心市街地の活性化を図るため、主要な施設である萬画館・元気いちばの利用者数を増やす。							
目標値の考え方	○基準値：令和元年度 1,427,143人 周辺地域の整備状況や社会情勢を加味し、意欲的数値である年間1%程度の増加を目指す。							
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)			
目標 (人)	1,419,758	1,436,373	1,452,988	1,469,603	1,486,218	再掲		
実績 (人)	1,233,639	1,481,234	-	-	-	R4達成度		
達成率	86.8%	103.1%	-	-	-	a		

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	4 多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち		
節	2 持続可能な漁業・水産加工業の振興		
数値目標 (KGI)	水産振興策が充実していると感じる市民の割合		
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 水産業の振興（①+②） ①[満足・どちらかといえば満足] 50.2% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 16.9%		
設定値 (%)	R3 (基準値)	⇒	R7(最終目標値)
	50.2	⇒	67.1

■節の達成状況

主な担当課	産業部水産課		
関係課			
令和4年度の主な取組や成果			
漁場の環境保全については、地元の漁業者団体による海洋ごみの回収・処理の取組を支援し、漁場や沿岸部の環境保全を図った。また、磯焼け対策として市内沿岸部の一部と田代島、網地島の周辺においてウニ駆除等による藻場の保全活動や万石浦における干潟の保全活動を支援し、生態系保全を図った。 水産業の担い手確保については、新規就業者数増加の試みとして、受入先の確保や、求人からマッチングを実施することで新規に漁業4名、水産加工業8名の計12名が就業した。また、漁師学校という企画で実際の漁業作業を体験できる研修を開催した結果、3名が参加し、1名の就業につながった。 石巻産水産物の生産・輸出体制の強化については、これまでの共同輸出に向けた取組に加え、アメリカへの輸出に向けた現地マーケティング調査を実施した。 漁港の施設機能の維持については、経年劣化等により、老朽化した雄勝熊沢地区の船揚場施設や水浜地区の防波堤施設の機能保全工事を行ったことで、施設の長寿命化が図られ、就労環境の改善及び生産性や作業効率を高められた。			
令和4年度における主な課題		改善した点・方向性	
①	海洋ごみによる漁場被害や漁港・海岸へのごみの漂着が発生しているほか、磯焼けが進んでいるなど、海洋環境が変化してきており、漁場にも影響が及んでいる。	市内の水産関係団体への啓発活動を実施し、海洋ごみの回収・処理を行う団体が増加した。今後も漁業者等による主体的な水域環境保全事業への参加を促していく。	
②	水産業就業者が年々減少しており、将来の水産業を担う人材の確保が必要である。	委託業者を通じ、就業しやすい環境づくりを図り、水産業の新規就業者を確保に努めた。今後は、就業者への定期的なヒアリングやシェアハウス等の住まいの支援を行い、離職率低減を図っていく。	
③	限られた予算の中で、計画的な保全工事を実施するため、各施設における優先順位に見極めながら実施する必要がある。	漁港の施設機能を維持するため、施設の重要度等を鑑み、優先順位のもと、計画的・効率的な事業展開を行う。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
B	◎	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	△
			◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上

外部評価	主な意見		
B	海外からの雇用も大事だが、地元や水産高校への就業支援には力を入れてほしい。		
概ね順調			

細節		1 漁場環境の保全を推進する					
重要業績評価指標 (KPI) ★指標見直し	海洋の環境や生態系の保全に取り組む団体数 (単年)						担当部課
							産業部水産課
指標の考え方	漁場や海洋環境を保全するため、食害生物や外来生物等の駆除、漂流・漂着ごみの回収処理等の海洋保全活動に取り組む団体を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 8団体 令和3年度に取組を行った延べ団体数を維持する。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (団体)	3	8	8	8	8		
実績 (団体)	8	9	-	-	-	R4達成度	a
達成率	266.6%	112.5%	-	-	-		
細節		2 操業体制の充実を図る					
重要業績評価指標 (KPI) ★指標見直し	新規水産業就業者数 (単年)						担当部課
							産業部水産課
指標の考え方	水産業就業者の減少が続いているため、移住者や若者を積極的に受け入れ、サポート体制の充実等により新規水産業就業者を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 13人 平成27年度の事業開始から平均値が7人であるため、毎年度10人を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	地方創生 P78
目標 (人)	10	10	10	10	10		
実績 (人)	13	12	-	-	-	R4達成度	a
達成率	130.0%	120.0%	-	-	-		
細節		3 新たな生産体制・原料確保を促進する					
重要業績評価指標 (KPI) ★指標見直し	石巻漁港水揚隻数 (単年)						担当部課
							産業部水産課
指標の考え方	水揚量の確保に向けて国内各地の漁船を誘致するため、訪問や誘致品の宅配等の誘致活動を行い、石巻漁港への水揚隻数を維持する。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 42,839隻 全国的に取り組んでいる漁船漁業の生産性向上により、漁船隻数の減少が進んでいるが、漁船誘致により、水揚隻数の現状の水準を維持する。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (隻)	-	42,000	42,000	42,000	42,000		
実績 (隻)	42,839	43,583	-	-	-	R4達成度	a
達成率	-	103.7%	-	-	-		

細節		4 水産物の流通体制の強化を図る					
重要業績評価指標 (KPI) ★指標見直し	水産物輸出額 (単年)					担当部課	
						産業部水産課	
指標の考え方	水産物の消費拡大や販路開拓のため、海外輸出に向けて本市水産物の安全性を発信し、輸出額を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 580,400千円 活動の推進により令和3年度実績から毎年度1千万円ずつ輸出額の増加を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (千円)	-	590,000	600,000	610,000	620,000		
実績 (千円)	580,400	788,320	-	-	-	R4達成度	a
達成率	-	133.6%	-	-	-		
細節		5 石巻産水産物のブランド化を推進する					
重要業績評価指標 (KPI)	ブランド認証シール活用事業所数 (単年)					担当部課	
						産業部水産課	
指標の考え方	現在ブランドとして認知されている金華さば、金華かつおについて、ブランド力の維持及び確保に向けて、認証シールを活用する事業者数を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和元年度 10者 令和元年度の実績を基準に毎年度1者の増加を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (者)	11	12	13	14	15		
実績 (者)	10	22	-	-	-	R4達成度	a
達成率	90.9%	183.3%	-	-	-		
細節		6 水産基盤の充実を図る					
重要業績評価指標 (KPI)	漁港施設機能保全事業対策工事实施箇所数 (累積)					担当部課	
						産業部水産課	
指標の考え方	漁港施設の機能を保全するため、老朽化した施設や更新が必要な施設の保全工事を実施し、コストの縮減及び平準化を図る。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 3箇所 機能保全計画に基づき、市管理34漁港のうち健全度の低い27施設の対策工事を実施すべく、職員による対応可能箇所数並びに国庫補助金の採択を考慮し実施箇所数を平準化し目標値を設定した。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (箇所) 単年 累積	2 2	7 9	6 15	6 21	6 27		
実績 (箇所) 単年 累積	3 3	2 5	- -	- -	- -	R4達成度	d
達成率	150.0%	28.5%	-	-	-		

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	4 多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち		
節	3 魅力的な農林畜産業の振興		
数値目標 (KGI)	農林畜産振興策が充実していると感じる市民の割合		
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 農林業の振興（①+②） ①[満足・どちらかといえば満足] 48.2% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 17.6%		
設定値 (%)	R3 (基準値)	⇒	R7(最終目標値)
	48.2	⇒	65.8

■節の達成状況

主な担当課	産業部農林課		
関係課	産業部ニホンジカ対策室		
令和4年度の主な取組や成果			
<p>農業従事者の確保対策として、就農希望者からの個別相談に応じたほか、座学や農作業体験イベントを開催し、地域の農業者から直接話を聞く機会や実際に農作業を体験する機会を設け、農業の楽しさや大変さを肌で感じていただくことができた。また、生産者訪問の機会を設け、農業体験や就農者の受入について連携を図り、地域で新たな担い手となる就農者を受け入れる体制の強化に努めた結果、雇用就農5人、独立就農2人の就農者を確保することができた。</p> <p>森林環境整備として、森林施業が行われずに荒廃した私有林人工林の環境改善に向け、森林経営管理制度を活用した本市への森林施業の委託希望調査を約172haの私有林人工林で行うとともに、過年度の意向調査において、本市に森林施業の委託を希望された私有人工林を対象とした間伐による森林整備に努めたが、森林所有者等の同意が得られないなどの理由により、約13haの間伐面積に留まった。</p> <p>ニホンジカによる農作物等被害軽減のため、宮城県猟友会石巻支部・河北支部に業務委託し、銃猟及びわな猟等により、1,545頭のニホンジカを捕獲したほか、地域住民で組織する地区協議会へ侵入防止柵7,500mを貸与した。</p>			
令和4年度における主な課題		改善した点・方向性	
①	新規就農者数は一定数確保できているが、離農者も多く、定着が課題となっている。	就農初期の住居に関する問題の解消をはじめ、伴走型の支援を講じ、就農希望者の不安等の解消に努めた。	
②	森林施業の委託希望調査を行う地区により、委託希望する所有者にバラつきが大きく、計画的な間伐面積を確保することができない。	森林所有者に替わり本市で行う間伐面積の増進に向け、森林施業委託希望の意向調査面積を拡大した。	
③	ニホンジカの捕獲頭数について、令和3年度実績に比べ低調となっている。	ニホンジカの捕獲頭数の増加を目指すため、猟友会と協議し効率的な捕獲と作業労力の軽減策として、令和5年度からICTを活用したわな遠隔通知システムを導入するための事業調整を行った。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
C	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	△
			◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上

外部評価	主な意見
C やや遅れている	ブランドの認知度を上げるための方法は、イベント等に出展する以外にも考えられるので、補助対象を広げることを検討してほしい。

細節		1 豊かな農村環境の再生と農業基盤整備を推進する					
重要業績評価指標 (KPI)	★指標見直し ほ場整備率（新規採択地区）（累積）						担当部課
							産業部農林課
指標の考え方	農地の汎用化により効率的で収益性の高い農業を行うため、ほ場の大区画化や水利条件等の整備を推進する。（福地地区、大森地区、深谷東地区、深谷西地区 計4地区 522.7ha）						
目標値の考え方	令和3年度は整備を行うにあたり、各地域において事前転作や事後転作等の協議を実施し、令和4年度以降は順次整備を行う。						
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標（％）	-	9.07	22.49	35.91	49.33		
実績（％）	0	16.75	-	-	-	R4達成度	a
達成率	-	184.6%	-	-	-		
細節		2 持続可能な農業生産体制を整備する					
重要業績評価指標 (KPI)	★指標見直し 認定農業者数（累積）						担当部課
							産業部農林課
指標の考え方	効率的で安定した農業経営に向けて、農業経営の改善を計画的に進めようとする農業者や農業法人を認定し支援を行う制度である「認定農業者」が減少傾向にあることから、減少を抑え維持を目指す。						
目標値の考え方	○基準値：令和元年度 593件 農業者が減少しているため、認定農業者も減少傾向にあるが、減少幅を抑え、現状を維持する。						
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標（件）	572	567	562	557	555		
実績（件）	574	558	-	-	-	R4達成度	b
達成率	100.3%	98.4%	-	-	-		
細節		3 豊かで身近な森林を再生する					
重要業績評価指標 (KPI)	★指標見直し 森林経営管理制度による間伐面積（累積）						担当部課
							産業部農林課
指標の考え方	野生動物の隠れ場となる荒廃森林の間伐により、見通しの良い森林を農地と野生動物の生息場所の緩衝地帯として回復させることで、農作物被害の抑制を目指す。						
目標値の考え方	令和3年度計画策定、令和4年度間伐開始。毎年度約58haずつ間伐を実施する。						
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標（ha） 単年 累積	-	58	58	57	57		
実績（ha） 単年 累積	0	13.09	-	-	-	R4達成度	d
達成率	-	22.5%	-	-	-		

細節		4 石巻産農畜産物のブランド化を推進する					
重要業績評価指標 (KPI) ★指標見直し	農畜産物ブランドPR事業への補助件数 (単年)					担当部課	
						産業部農林課	
指標の考え方	本市農畜産物の消費拡大に向けてブランドの知名度を上げるため、市内の生産者が市外のイベント等に出展する経費の一部補助を行うことで市内農畜産物の知名度向上・ブランド化を図る。						
目標値の考え方	○基準値：令和元年度 1件 各種イベントで年2回程度の活動を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (件)	-	2	2	2	2		
実績 (件)	1	1	-	-	-	R4達成度	d
達成率	-	50.0%	-	-	-		
細節		5 安全で高品質な農畜産物の安定供給体制を構築する					
重要業績評価指標 (KPI)	農畜産物の安全性情報発信件数 (単年)					担当部課	
						産業部農林課	
指標の考え方	安心して本市農畜産物を消費してもらうため、安全性を定期的に発信する。						
目標値の考え方	放射性物質の検出はほぼなくなっているが、年2回程度、ホームページ等で安全性を発信する。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (件)	2	2	2	2	2		
実績 (件)	0	2	-	-	-	R4達成度	a
達成率	0.0%	100.0%	-	-	-		
細節		6 持続可能な農業経営体を育成する					
重要業績評価指標 (KPI)	新規就農者数 (単年)					担当部課	
						産業部農林課	
指標の考え方	農業従業者の高齢化や担い手不足が続いていることから、移住者や若者を積極的に受け入れ、サポート体制の充実等により新規就農者を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和元年度 4人 近年の実績から毎年度2人程度の確保を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	地方創生 P78
目標 (人)	2	2	2	2	2		
実績 (人)	4	7	-	-	-	R4達成度	a
達成率	200.0%	350.0%	-	-	-		

細節	7 農作物の被害対策を推進する							
重要業績評価指標 (KPI)	有害鳥獣（ニホンジカ）による被害額（単年）					担当部課		
★指標見直し						産業部ニホンジカ対策室		
指標の考え方	ニホンジカ生息頭数の増加や生息域の拡大に伴い農作物被害や自動車との衝突事故による被害が発生していることから、関係機関と連携して有害捕獲を進め、生息頭数の削減に努めるとともに、農作物被害軽減のための獣害防止柵を設置することにより、ニホンジカによる被害額の軽減を図る。							
目標値の考え方	○基準値：令和3年度被害額 48,759千円 石巻市鳥獣被害防止計画において、農作物等の被害額を4年間で2割減とする目標を設定していることから、同様に基準値比で年間5%被害額を軽減させる目標値を設定した。 ※令和4年度実績値：宮城県が公表する速報値（6月末公表）							
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲		
目標（千円）	-	46,000	44,000	41,000	39,000			
実績（千円）	48,759	41,101	-	-	-	R4達成度		a
達成率 ※	-	111.9%	-	-	-			

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	4 多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち		
節	4 地域資源を活かした観光事業の振興		
数値目標 (KGI)	観光振興策が充実していると感じる市民の割合		
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 観光の振興（①+②） ①[満足・どちらかといえば満足] 32.9% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 25.9%		
設定値 (%)	R3 (基準値)	⇒	R7(最終目標値)
	32.9	⇒	58.8

■節の達成状況

主な担当課	産業部観光課		
関係課			
令和4年度の主な取組や成果			
<p>川開き祭りや牡鹿鯨祭り、河北産業まつり、北上にっこりまつりなど、コロナ禍で中止を余儀なくされていたイベントを再開し、規模は従来よりも縮小する場合もあったが、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を見ながら観光客数の回復に努めた。</p> <p>また、文化庁の100年フードに「ほや雑煮」が認定され、同料理を活用したPRを実施し、様々な切り口から観光客数の回復につながるよう努力した一方で、宿泊観光客数の増加に向け、石巻圏観光推進機構の離島コンテンツを活用した宿泊メニュー開発に協力した。</p> <p>イベント等の再開にあわせ、市全体の観光客入込数は、前年より1,474,792人増加し153.2%の増、宿泊観光客数は、前年より32,587人増加し121.8%の増となった。</p>			
令和4年度における主な課題		改善した点・方向性	
①	新型コロナウイルス感染症の影響により減少した観光客数をいかに回復するかが課題である。	ウィズコロナの中で感染症対策を講じながら祭り等を再開した。また、各地で開催される観光・物産イベントでのPRを図るほか、各種SNSやHP、ガイドブック、観光大使等を活用し情報発信に取り組んだ。	
②	通過型の観光が中心となっているため、いかに宿泊観光客数を増加していくかが課題である。	震災伝承や防災教育等の教育旅行、研修旅行の誘致のため、首都圏旅行会社等へのトップセールス、観光キャラバンによるPRを図った。また、伝統食、日本遺産、離島などを活用した観光プランの開発に取り組んだ。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
C	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	△ ◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上

外部評価	主な意見
C やや遅れている	宿泊客数を伸ばすためには、朝・夜のコンテンツを増やすことが必要である。地域資源を活用した朝・夜のコンテンツの創出に取り組んでほしい。

細節		1 地域資源を活用した観光誘客を推進する					
重要業績評価指標 (KPI)	宿泊観光客数 (単年)						担当部課
							産業部観光課
指標の考え方	本市は宿泊施設が少なく通過型観光が中心であるが、宿泊観光客は、各観光施設や各種イベントの入込にも波及するものであることから、宿泊者数の増加を図る。						
目標値の考え方	○基準値：平成31年1月～令和元年12月 246,599人 平成30年から令和元年の増加人数が2,404人だったことから、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、半分である1,200人の増加を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (人)	247,800	247,800	247,800	247,800	247,800		
実績 (人)	149,412	181,999	-	-	-	R4達成度	c
達成率	60.2%	73.4%	-	-	-		
細節		2 観光振興体制を構築する					
重要業績評価指標 (KPI)	観光課SNSフォロワー数 (累積) ☆目標値見直し						担当部課
							産業部観光課
指標の考え方	観光誘客につなげるため、あらゆる情報媒体を活用して本市の魅力を発信し、SNSのフォロワー数を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 インスタグラム 1,496件、フェイスブック 3,394件 令和4年度以降は、前年比およそ1割の増加を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (件)	1,200 Instagram Facebook	1,650 3,500	1,800 4,000	2,000 4,400	2,200 4,800		
実績 (件)	1,496 Instagram Facebook	1,861 4,426	-	-	-	R4達成度	a
達成率	-	116.1%	-	-	-		

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	4 多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち		
節	5 企業誘致の推進と新たな産業の創出		
数値目標 (KGI)	新たな雇用が創出されていると感じる市民の割合		
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 企業誘致や新たな産業創出（①+②） ①[満足・どちらかといえば満足] 28.6% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 27.8%		
設定値 (%)	R3 (基準値)	⇒	R7 (最終目標値)
	28.6	⇒	56.4

■節の達成状況

主な担当課	産業部産業推進課		
関係課			
令和4年度の主な取組や成果			
<p>コロナ禍の影響で業界全体の設備投資意向は停滞傾向であったが、これまでの継続案件を遅滞なく進め、また、企業訪問時に石巻市企業立地等促進条例に基づく各種助成金や活用可能な各種優遇制度を紹介することで設備投資予定のある企業を掘り起こすことができ、企業立地件数を目標相当程度達成することができた。</p> <p>金融機関等の支援事業者と連携しながら、本市独自の創業支援補助制度により創業希望者への経費支援を行うとともに、市内事業者を対象とした各種相談会・セミナー等の実施により、創業予定者や中小企業の創業者をサポートすることができた。また、令和4年度は、新たな取組として創業間もない方々を対象としたトライアルマーケット支援事業をイオンモール石巻催事場で実施し、新商品や今後販売予定商品をお試しで販売・提供することにより、市場ニーズの把握や事業改善、事業PRの場を提供することができた。</p> <p>地域資源活用セミナーは、令和6年度稼働予定の「次世代放射光Nano Terasuの概要」及び本市に基幹工場を有する日本製紙が生産しているCNF（木を構成する繊維をナノレベルまで細かくほぐすことで生まれる最先端のバイオマス素材）の活用に向けたセミナーを開催し、CNFについては、既に活用している市内事業者に事例を発表いただく機会を設け、参加企業の新たな事業展開のきっかけ作りにつながった。</p>			
令和4年度における主な課題		改善した点・方向性	
① 企業訪問件数は目標を達成できたが、コロナ禍の影響で企業立地件数については、目標件数に届かなかった。		コロナ禍の反動で新規の設備投資計画が増加傾向であることから、企業のオーダーに応じた立地場所、優遇制度などの情報提供を親切丁寧に継続して行っていく。	
② トライアルマーケットは、特にイオンモールに来店した方々への訴求力が不足していた。また、商品が早々に売り切れてしまった。		令和4年度は初めての取組であったことから、来場者及び出展者アンケートの結果をさらに分析し、装飾の工夫、出展者への出品物の調整など、改善を行っていく。なお、令和5年度は2回開催予定としている。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
A	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	◎
			◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上

外部評価	主な意見
A 順調	他の被災沿岸地区と異なる特徴・魅力を、企業視点に立って検討し、発信していく必要がある。

細節		1 新規及び既存企業への立地などに伴う支援を推進する					
重要業績評価指標 (KPI)	立地企業件数 (単年)						担当部課
★指標見直し							産業部産業推進課
指標の考え方	企業誘致は新たな雇用創出や定住人口の増加につながるほか、市税収入等の増加にも効果があることから、企業立地意向調査や企業訪問等に取り組み、市内に新たに立地する企業数を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和元年度 5件 過去5年間の企業立地実績をベースに、今後の用地分譲件数を考慮して設定した。 ※過去5年の平均立地件数/年+今後平均分譲数/年×(100-指定企業者率34%)						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	地方創生 P82
目標 (件)	10	10	10	10	10		
実績 (件)	10	9	-	-	-	R4達成度	b
達成率	100.0%	90.0%	-	-	-		
細節		2 新規創業や第二創業を促進する					
重要業績評価指標 (KPI)	新規創業・第二創業件数 (単年)						担当部課
							産業部産業推進課
指標の考え方	助成制度や相談支援体制を充実させ、新規創業や第二創業件数 (中小企業等が、新しい経営者を就任させ、新しい分野に進出すること) を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和元年度 4件 創業支援等事業計画に基づき創業者数を設定した。 (創業者数=推定年間創業件数100件×潜在的創業希望者割合6.8倍×創業希望割合47%×支援目標10%×創業率10%)等の合算						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (件)	9	9	9	9	9		
実績 (件)	9	14	-	-	-	R4達成度	a
達成率	100.0%	155.5%	-	-	-		
細節		3 地域資源を活かした産業を強化する					
重要業績評価指標 (KPI)	地域資源利活用セミナー参加者数 (単年)						担当部課
							産業部産業推進課
指標の考え方	CNFなど、今後用途・事業展開が見込まれ地域資源の利活用を促進するため、セミナーの開催や情報提供を行うほか、新技術の導入、新規事業への進出等、経営基盤の強化や新たな事業展開を行う事業者への支援を行うことで、地域の雇用創出や産業の活性化に努める。						
目標値の考え方	○基準値：令和元年度 20人 令和元年度に開催したCNFセミナーでの参加事業者数を基準として20人と設定した。令和7年度以降は年2回開催、各20人として設定した。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (人)	20	20	20	20	40		
実績 (人)	0	83	-	-	-	R4達成度	a
達成率	0.0%	415.0%	-	-	-		

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	4 多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち		
節	6 未来の産業を担う人材の確保と育成		
数値目標 (KGI)	未来の産業を担う人材の確保と育成に関する取組が充実していると感じる市民の割合		
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 販路拡大や人材確保など地元企業の育成（①+②） ①[満足・どちらかといえば満足] 30.0% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 26.7%		
設定値 (%)	R3 (基準値)	⇒	R7 (最終目標値)
	30.0	⇒	56.7

■節の達成状況

主な担当課	産業部産業推進課		
関係課	産業部商工課		
令和4年度の主な取組や成果			
<p>令和4年7月に高校生を対象とした250人規模の合同企業説明会を予定していたが、会場としていた石巻市総合体育館が福島県沖地震の影響により説明会直前に利用停止となり、急遽、代替施設の検討や学校との調整を行ったものの、日程調整できずやむを得ず中止とした。</p> <p>しかしながら、関係機関との連携により、就職未定の生徒を対象とした面接会や、進路選択に大きな影響を及ぼしている保護者を対象として、市内事業所を知っていただくための企業見学バスツアーのほか、令和4年度に初めて高校1、2年生を対象とした企業見学ツアーを開催し、地元就職の促進に努めた。</p> <p>また、若手経営者を対象とし、参加者数を絞り込み、より密に経営者に必要なスキル、課題解決等を年間を通して学ぶ「中小企業セミナー（経営革新塾）」を引き続き開催しており、少人数であるがゆえに深掘した内容のセミナーとなっていることから、参加者の満足度も高く、学んだことが徐々に実践されてきている状況にあり、今後も継続して実施するなど、雇用者側と経営者側の両面から、人材の育成と確保に取り組んでいく。</p>			
令和4年度における主な課題		改善した点・方向性	
① コロナ禍でセミナーの出席率が低下している。		オンライン受講を併用したことで、出席率を大きく低下させることなく実施できた。	
② 高校生の地元定着を進めていくためには、地元企業の良さをより知っていただき、理解を深めてもらう取組が必要がある。		高校生を対象とした企業見学ツアーについて、令和4年度は1・2年生を対象として1月に開催したが、令和5年度は3年生を対象として就職活動解禁後の夏休みに実施を予定している。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
D	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	×
			◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上

外部評価	主な意見		
D 遅れている	若者の石巻での就業率を上げるため、各々の担当課と関係団体・高校・大学が協力し合い、職場見学ツアー・職場体験などを企画しては、産業人材の確保・育成機関との連携や、ハローワーク・県・市・商工会議所などが連携し、UIJターンにむけた求人活動に取り組むべき。		

細節		1 関係機関との連携により人材を確保する					
重要業績評価指標 (KPI) ☆目標値見直し	合同企業説明会への求職者の参加人数 (単年)						担当部課
							産業部商工課
指標の考え方	産業人材を確保及び育成するため、関係機関との連携により合同企業説明会の参加人数を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 一般向け 16人、高校生向け 413人 (2回) 令和4年度からは高校生の合同企業説明会参加者を含めて設定した。 一般求職者向け 100人 (年2回×1回あたり50人) 高校生向け 250人 (年1回)						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	地方創生 P82
目標 (人)	200	350	350	350	350		
実績 (人)	429	77	-	-	-	R4達成度	d
達成率	214.5%	22.0%	-	-	-		
細節		2 人材の育成支援を行う					
重要業績評価指標 (KPI)	中小企業セミナー参加者数 (単年)						担当部課
							産業部産業推進課
指標の考え方	中小企業の課題解決に向けて、ワークショップ形式や討論形式による対話型のセミナーを開催し、参加者数を維持する。						
目標値の考え方	○基準値：令和元年度 16人 過去の実績を踏まえ、ワークショップ等を実施するのに適切な人数規模で設定した。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (人)	15	15	15	15	15		
実績 (人)	15	12	-	-	-	R4達成度	b
達成率	100.0%	80.0%	-	-	-		

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	5 豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち		
節	1 安全に安心して学ぶための教育環境整備の推進		
数値目標 (KGI)	安全安心な教育環境が整備されていると感じる市民の割合		
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 学校設備や教材等の学習環境の質の向上（①+②） ①[満足・どちらかといえば満足] 50.3% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 17.2%		
設定値 (%)	R3 (基準値)	⇒	R7(最終目標値)
	50.3	⇒	67.5

■節の達成状況

主な担当課	教育委員会学校管理課	
関係課		
令和4年度の主な取組や成果		
<p>文部科学省が策定した教材整備指針を参考に「石巻市立小・中学校教材整備方針」を定め、令和2年度から令和11年度までの10年間で、各小中学校で設定した整備目標数に対して充足率を100%に近づけるよう教材の整備を図ることとしているが、令和4年度においても、学校現場との協議のもと、教材の整備を推進し、児童生徒の教育効果を高めることに寄与した。</p> <p>石巻中学校の校舎及び屋内運動場について、今後も長く将来にわたって施設を使用していくための長寿命化を図ることを目的として、2か年工事のI期工事を実施した。</p> <p>また、前谷地小学校の水泳プールについて、給排水設備を含む施設の老朽化が著しく、応急的な修繕やメンテナンスによる維持管理が困難な状況になっていることから、2か年にわたる改築工事のI期工事を実施した。</p>		
令和4年度における主な課題	改善した点・方向性	
① 限られた予算の中、教材の計画的な更新等が必要であることから、学校現場との連携が必要となっている。	予算の有効活用を図りつつ、各学校現場で作成する教材台帳の適切な管理とともに連携を図っていく。	
② 限られた学校敷地の中で学校生活に支障をきたすことなく必要な施設整備を実施していく必要がある。	学校現場と調整し、必要に応じて対応策を協議していく。	
内部評価	定性評価	定量評価【KPI】
A	○ ◎ : 課題を改善し効果を上げることができた ○ : 課題の改善に取り組んでいる × : 課題が改善されず効果が上がっていない	◎ ◎ : 「aまたはb」のみでaが半数以上 ○ : 「aまたはb」のみでaが半数未満 △ : 「cまたはd」がありdが半数未満 × : dが半数以上

外部評価	主な意見
A 順調	教育環境の整備にさらに力を入れてほしい。

細節		1 充実した教育を行うための環境を整備する					
重要業績評価指標 (KPI)	学校教材整備目標に対する備品の充足率 (累積)						担当部課
							教育委員会学校管理課
指標の考え方	良好で質の高い教育環境のため、教育内容や指導方法に対応した教材の購入や、老朽化した教材の計画的な更新を進める。						
目標値の考え方	○基準値：令和2年度 47.4% 文部科学省の教材整備方針に基づき策定した石巻市小・中学校教材整備方針における考え方を基本とし、現状を踏まえた充足率を設定した。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (%)	60.00	63.70	67.40	71.00	74.60		
実績 (%)	57.50	66.95	-	-	-	R4達成度	a
達成率	95.8%	105.1%	-	-	-		
細節		2 安全安心な学校施設整備を推進する					
重要業績評価指標 (KPI)	校舎等整備事業完了件数 (累積)						担当部課
		★指標見直し					教育委員会学校管理課
指標の考え方	児童・生徒が充実した学校生活をおくるためには、学習・生活の場である学校が安全・安心である必要があることから、学校施設を計画的に整備・更新する。						
目標値の考え方	○基準値：令和2年度 3件 石巻市学校施設整備保全計画に基づき、将来的な学校施設の統合を踏まえ、整備完了件数を概ね年3件と目標値を設定した。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (件)	3	3	6	9	9		
実績 (件)	3	3	-	-	-	R4達成度	a
達成率	100.0%	100.0%	-	-	-		

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	5 豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち		
節	2 社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実		
数値目標 (KGI)	学校教育が充実していると感じる市民の割合		
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 国際理解や情報・環境教育など現代社会に対応した教育の推進（①+②） ①[満足・どちらかといえば満足] 43.8% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 20.6%		
設定値 (%)	R3 (基準値)	⇒	R7 (最終目標値)
	43.8	⇒	64.4

■節の達成状況

主な担当課	教育委員会学校教育課		
関係課	教育委員会教育総務課		
令和4年度の主な取組や成果			
学校教育の充実を図るため、「学校わくわくプラン事業」において、他者への気付きや対人関係などのスキルを学んだり、仲間同士支え合う活動を実践したりするマルチレベルアプローチ理論（以下、「MLA」という。）を取り入れ、平和で民主的な人間関係を構築し、価値ある行動や主体的に学ぶ力を育むことで、生活面や学習面に好影響を与えることができた。また、児童生徒にやりがいを与えたり取組意欲を高めたりする新しいイベント（「タブドリ祭り」）の実施により、更に学習に前向きに取り組む姿が見られた。 外国語及び外国語活動の授業においては、ALTが自分から積極的に授業のアイデアを提供し、創意工夫がある魅力的な授業が各学校で展開され、また、ALTと外国語科教員が2人制で授業を行うことで、効果的に児童のコミュニケーションへの意欲を高めることができた。 奨学金貸与制度は、有能な人材であるが、経済的に修学困難な学生に学資を貸与することで、修学を支援するものであるが、国において令和2年度より給付型の奨学金を創設したこともあり、利用者数は減少傾向にある。令和4年度に修学資金を貸与した学生31名のうち、29名が進学あるいは卒業を果たし、学生の進学支援に寄与することができた。また、経済的に困窮している家庭の保護者を対象に、就学に必要な学用品、通学用品費、修学旅行費、給食費等を補助することにより、児童生徒の就学支援を図ることができた。			
令和4年度における主な課題		改善した点・方向性	
① 小中が連携し義務教育期間で一貫した取組が必要である。	小中連携主任研修会を通じて、中学校区単位における取組を「MLA理論の視点」で整理し、義務教育9年間の取組となるような連携を図った。		
② 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に取り組む必要がある。	外国語活動・外国語科研修会では、講師の方から授業改善や小中連携などの話を聞いたり、教員各自の取組について意見交流を行ったりした。		
③ 奨学金制度の利用者が減少している。	利用しやすい制度とするため検討を行い、令和5年度より募集機会を年2回から年3回に増やすこととした。		
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
A	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上

外部評価	主な意見		
A 順調	宮城県は全国でも学力が小学生も中学生もかなり低く、石巻市はさらに低い現状にある。		

細節		1 学校教育の充実を図る					
重要業績評価指標 (KPI)	学校が楽しいと感じている児童生徒の割合 (単年)	担当部課					
		教育委員会学校教育課					
指標の考え方	児童生徒の主体的に生きる力を育成するため、児童生徒の意欲を高めることが重要であることから、学校が楽しいと感じている児童生徒の割合を高める。						
目標値の考え方	○基準値：令和2年度 83.6% 高い数値で推移しているが、引き続き高水準を維持する。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	地方創生 P86
目標 (%)	80.0	82.0	84.0	86.0	88.0		
実績 (%)	91.7	91.0	-	-	-	R4達成度	a
達成率	114.6%	110.9%	-	-	-		
細節		2 外国語教育を推進する					
重要業績評価指標 (KPI)	★指標見直し ALTとの授業が楽しい児童生徒の割合 (小・中学校) (単年)	担当部課					
		教育委員会学校教育課					
指標の考え方	国際化が進展する現代において、異文化を受容し共生する能力を育成するため、外国語を身近に感じ、ALTとの授業が楽しいと感じている児童生徒の割合を高める。						
目標値の考え方	○基準値：平成29年度～令和3年度の平均 87.62% 令和3年度以前より高い数値で推移しているが、現状と同程度の水準を維持する。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (%)	-	90.0	90.0	90.0	90.0		
実績 (%)	90.9	90.5	-	-	-	R4達成度	a
達成率	-	100.5%	-	-	-		
細節		3 有能な人材を育成支援する					
重要業績評価指標 (KPI)	★指標見直し 奨学金貸与者のうち、進級又は修了 (卒業) した者の割合 (単年)	担当部課					
		教育委員会学校教育課					
指標の考え方	未来を担う学生が経済的理由等により就学を諦めることがないよう、奨学金の貸与を実施する。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 97.8% 奨学金貸与者全員が無事に進級又は終了 (卒業) することを目標とする。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (%)	-	100	100	100	100		
実績 (%)	97.8	93.5	-	-	-	R4達成度	b
達成率	-	93.5%	-	-	-		

細節		4 就学に係る支援を強化する						
重要業績評価指標 (KPI) ★指標見直し	就学援助を要する児童生徒の保護者への補助実施率 (単年)						担当部課	
							教育委員会教育総務課	
指標の考え方	経済的理由等により就学困難な児童生徒が必要な支援を受けられるよう、学用品費や通学用品等をはじめとして就学に係る費用の助成を行う。							
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 100% 申請者のうち、経済的理由等により就学困難と認められる児童生徒の保護者が漏れなく適切な支援を受けることを目標とする。							
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)			
目標 (%)	-	100	100	100	100	再掲		
実績 (%)	100	100	-	-	-	R4達成度		
達成率	-	100.0%	-	-	-	a		

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	5 豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち		
節	3 いのちを守る防災教育の推進		
数値目標 (KGI)	防災教育が推進されていると感じる市民の割合		
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 防災知識の普及や防災教育の充実などの地域防災力の向上（①+②） ①[満足・どちらかといえば満足] 50.1% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 19.6%		
設定値 (%)	R3 (基準値)	⇒	R7(最終目標値)
	50.1	⇒	69.7

■節の達成状況

主な担当課	教育委員会学校安全推進課		
関係課	教育委員会学校教育課		
令和4年度の主な取組や成果			
教職員の災害対応力の向上を目的として実施している「防災主任研修会」は、山形大学や東北大学の教授がアドバイザーとなり助言指導をいただきながら、地形図やハザードマップも用いて学校区における災害リスクや、地震津波・原子力避難訓練モデル校の参観、セーフティプロモーションスクール (SPS) を含めた各種モデル校の成果発表を行うことで、防災教育の共通理解を深めた。 研修会参加者は、研修内容を学校内で確実に共有し、自校の避難訓練や防災教育に反映させることで、より実践的な災害対応力の向上につなげている。 ■研修会実績【①6/8(水)・②9/15(木)・③11/10(木)・④1/27(金)】計4回の研修会を実施 市内全ての小・中学校にスクールカウンセラーを配置し、震災の影響も含め、日々の学校生活の中で心のケアが必要な児童生徒、保護者に対する相談業務を継続して実施しており、相談業務の中には継続的な見守りと相談を要するケースもある。教職員に対する相談業務も実施しており、スクールカウンセラーの役割は多岐にわたっている。 ■教員研修実績 小学校15校(33校中)、中学校10校(18校中) 計25校(51校中)で49% ■カウンセリング実績 小学校2,443件、中学校1,594件、保護者1,146件、教員948件 延べ件数 6,131件			
令和4年度における主な課題		改善した点・方向性	
① 震災を経験しない児童生徒や教職員が増える中、如何にして震災の教訓を伝え生かすか。		防災教育副読本の見直しを毎年度実施している。一部改訂を毎年度継続することで、児童・生徒・教職員の実態に応じた、活用しやすい副読本を作成していく。	
② スクールカウンセラーの活用は十分されているものの、多様化・複雑化する学校現場における課題に対応するため、校内における相談体制をさらに充実させていく必要がある。		スクールカウンセラーによる教員研修会の好事例を校長会議や教頭会議で紹介する等、必要性について周知徹底を図り、研修会の開催を促していく。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
D	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	×
◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上			

外部評価	主な意見		
D 遅れている	スクールカウンセラーの教員向け研修会の実施校が約半分に留まっているので、学校ごとに実施するのではなく、合同での実施や、他の研修の機会に合わせて実施するなどしてはどうか。		

細節		1 心のケアや相談体制の充実を図る					
重要業績評価指標 (KPI) ★指標見直し	スクールカウンセラーを活用した各校の教員研修会実施率 (単年)						担当部課 教育委員会学校教育課
指標の考え方	児童生徒、保護者及び教職員の心理的安定を図るため、全校に配置しているスクールカウンセラー (教育機関において心理相談業務に従事する心理職専門家) による、教員への研修会を全校で実施する。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 スクールカウンセラー配置率100% スクールカウンセラーによる教員への研修会を毎年度全校で実施する。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	地方創生 P87
目標 (%)	-	100	100	100	100		
実績 (%)	-	49.0	-	-	-	R4達成度	d
達成率	-	49.0%	-	-	-		
細節		2 防災教育の充実を図る					
重要業績評価指標 (KPI)	防災教育研修回数 (単年)						担当部課 教育委員会学校安全推進課
指標の考え方	防災教育の指導力と学校の災害対応力を高めるため、教職員に対する防災教育研修会を実施し、開催回数を維持する。						
目標値の考え方	○基準値：令和2年度 4回 全学校の安全担当主幹教諭や防災主任を対象とした実践的な防災教育研修会を年4回維持する。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (回)	4	4	4	4	4		
実績 (回)	4	4	-	-	-	R4達成度	a
達成率	100.0%	100.0%	-	-	-		

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	5 豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち		
節	4 地域ぐるみで子どもを育てる教育活動の推進		
数値目標 (KGI)	地域ぐるみでの教育活動が推進されていると感じる市民の割合		
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 地域と連携した学習機会の提供（①+②） ①[満足・どちらかといえば満足] 47.5% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 18.5%		
設定値 (%)	R3 (基準値)	⇒	R7 (最終目標値)
	47.5	⇒	66.0

■節の達成状況

主な担当課	教育委員会生涯学習課		
関係課			
令和4年度の主な取組や成果			
<p>市内小学校5・6年生を対象とする「ふるさと子どもカレッジ事業」において、国土交通省東北地方整備局塩釜港湾・空港整備事務所及び宮城県石巻港湾事務所との連携による石巻湾クルーズ、雄勝地区漁業者の協力によるホタテの貝さし体験、河北地区の風力発電企業による現地見学、北上地区の農業法人との連携によるオランダ式近代農業施設見学及び収穫体験など、多種多様な主体に参画していただくことにより、普段は経験できない学びを提供した結果、地域の魅力や特性の理解につながり、参加者の満足度100%を達成することができた。</p> <p>また、「ジュニア・リーダー活動」については、コロナ禍で子ども会活動が縮小していたことから、同様にジュニアリーダー活動の場も縮小していたが、ふるさと子どもカレッジにおけるスタッフとしての活用や青年文化祭への参加など、新たに活動の場を増やすことにより、ジュニアリーダーと児童がお互いに成長する機会の確保へとつながった。</p>			
令和4年度における主な課題		改善した点・方向性	
①	コロナ禍によりふるさと子どもカレッジ申込者数が減少している。	参加者の増加が連携者のモチベーションにつながることから、平成30年度には35名あった参加者を回復すべく、月1回の開催から夏季休暇中の開催回数を増やすなど開催方法を変更した。また、プログラムの更新を図り新規性を高めたことにより、令和2年度の13名から、令和3年度24名、令和4年度26名と回復している。	
②	コロナ禍により子ども会活動が減少し、児童とジュニアリーダーとの活動機会が失われたことから、新たな入会者が少なく、ジュニアリーダー会員数が減少している。	ジュニアリーダーの認知度向上の観点から、子ども会以外の児童との活動機会を確保すべく、新たな活動の場の開拓やジュニアリーダー初級研修会への参加周知を強化している。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
A	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	◎
			◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上

外部評価	主な意見
A 順調	ふるさと子どもカレッジについて、漁業、農業の体験などは参加しやすく良いと思うが、石巻市中心部の子ども達が地域の人と関わる時間が少ないと思う。 また、人気度が高い内容を目玉とし、子ども達から希望を取ってメニューを検討してほしい。

細節		1 地域で支える教育活動を支援する					
重要業績評価指標 (KPI)	ふるさと子どもカレッジ参加者満足度 (単年)	担当部課					
		教育委員会生涯学習課					
指標の考え方	子どもたちが郷土の自然や文化を体験するため、地域や企業の協力のもと、年間7回を通して各地区の特色を生かした講座を開催し、参加者の満足度が高い内容を実施することで参加者数を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和元年度 83% 全参加者が満足できる事業内容を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	地方創生 P83
目標 (%)	100	100	100	100	100		
実績 (%)	100	100	-	-	-	R4達成度	a
達成率	100.0%	100.0%	-	-	-		
細節		2 青少年の健全な成長を支援する					
重要業績評価指標 (KPI)	★指標見直し ジュニア・リーダー活動数 (単年)	担当部課					
		教育委員会生涯学習課					
指標の考え方	子ども会活動等における体験活動の指導・支援を行う青年ボランティアであるジュニア・リーダーを育成し、活動数を増やすことにより、中高生であるジュニアリーダーと児童がお互いに成長する機会を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 49人 令和3年度の実績を基準とし、毎年度約10%の増加を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (人)	-	55	60	65	70		
実績 (人)	49	138	-	-	-	R4達成度	a
達成率	-	250.9%	-	-	-		

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	5 豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち		
節	5 豊かな地域社会を育む生涯学習の推進		
数値目標 (KGI)	生涯学習に親しむ取組が推進されていると感じる市民の割合		
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 図書館、文化ホールなどの整備・充実（①+②） ①[満足・どちらかといえば満足] 35.7% ②[どちらかといえば不満・満足]×1/2 25.6%		
設定値 (%)	R3 (基準値)	⇒	R7(最終目標値)
	35.7	⇒	61.3

■節の達成状況

主な担当課	教育委員会生涯学習課		
関係課	教育委員会図書館		
令和4年度の主な取組や成果			
<p>生涯学習環境の充実を目的に実施している出前講座は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、申込件数も落ち込んでいたが、庁内外の協力のもと講座メニューを更新し、「石巻市の農林業」を有害鳥獣被害と関連付けた「石巻市の農林業と鳥獣対策」としてメニュー化するなど内容をアップデートしたほか、「障がい者とレッツスポーツ」「パパママ向けマナー講座」「ご存じですか遺言保管制度」の3講座を新規メニューとして開設した。さらには、申請手続きについてEメールでの受付を可能とするなど、利便性向上を図ったことにより、実施件数の増加へとつながった。</p> <p>また、図書館の利用者を増やす取組として、包括連携協定を締結しているポプラ社と連携し、石ノ森萬画館との連動企画として、キャラクターの特大パネル等の活用や関連する図書コーナーを設けたことにより、多くの来館者があり、年間利用者数の増加へとつながった。</p>			
令和4年度における主な課題		改善した点・方向性	
① 出前講座のリピーターが多く、新規利用者が少ない。		行政委員配布、市報及びホームページによる周知以外にも、校長会を活用し生徒を対象とした選挙制度の出前講座をPRするなど新たな利用層の掘り起こしを実施した。	
② 新型コロナウイルス感染症拡大により、除籍本の無償譲渡が実施できていない。		以前は日程を設定し行っていたが、密を避けるため通年で試行した。申込制を止め、冊数制限を解除したことにより多くの利用者があった。また、申込制を止めたことにより、整理券の配布や会場の人員配置の必要がなくなり、事務作業も軽減された。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
A	◎		◎
	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない		◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上

外部評価	主な意見
A 順調	市で行っている出前講座の存在を知らない人が多い。学校の文化的行事に合う講座もたくさんあるので、もっと周知してほしい。

細節		1 生涯学習環境を強化する					
重要業績評価指標 (KPI)	★指標見直し	出前講座実施件数 (単年)					担当部課
							教育委員会生涯学習課
指標の考え方	出前講座のメニューを充実させることにより、出前講座申込件数の増加を図り、生涯学習事業参加者数の増加へつなげる。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 103件 令和3年度の実績を基準とし、毎年度約5%の増加を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (件)	-	105	110	115	120		
実績 (件)	103	144	-	-	-	R4達成度	a
達成率	-	137.1%	-	-	-		
細節		2 読書の推進・環境を整備する					
重要業績評価指標 (KPI)	★指標見直し	図書館利用者数 (単年)					担当部課
							教育委員会図書館
指標の考え方	市民の読書活動を推進するため、図書館利用者を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 102,266人 令和3年度の実績を基準とし、月30人×12か月＝年間360人ずつ増加を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (人)	-	102,626	102,986	103,346	103,706		
実績 (人)	102,266	108,967	-	-	-	R4達成度	a
達成率	-	106.1%	-	-	-		

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	5 豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち		
節	6 生涯にわたるスポーツ活動の推進		
数値目標 (KGI)	スポーツに親しむ取組が推進されていると感じる市民の割合		
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） スポーツ・レクリエーションなどが出来る機会の提供（①+②） ①[満足・どちらかといえば満足] 42.0% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 22.5%		
設定値 (%)	R3 (基準値)	⇒	R7(最終目標値)
	42.0	⇒	64.5

■節の達成状況

主な担当課	市民生活部スポーツ振興課		
関係課			
令和4年度の主な取組や成果			
<p>小学校低学年を対象としたキッズバラエティスポーツ教室やティーボール教室を実施したほか、老若男女が楽しめる体育館スポーツ教室などを実施し、市民の体力と運動能力向上につなげた。</p> <p>また、各種スポーツ教室の会場にもなっている石巻市総合体育館の屋上防水改修工事等を実施したほか、令和4年福島県沖地震による被害に速やかに対応し、アリーナ吊り天井修繕を実施した。</p> <p>スポーツを通じた交流活動として、市主催スポーツ交流イベントや、市内小中学校での「あすチャレ！スクール」をはじめ、オリンピックとの交流を楽しむ「オリンピックデーラン」を実施したほか、市内外から大勢の方が参加した「いしのまき復興マラソン」や「ツール・ド・東北」等を実施した。</p> <p>プロアスリートやオリンピック、パラリンピアンをはじめ、市内外の方々の交流が促進され、スポーツの楽しさや魅力を伝えられたことで、市民の健康増進や青少年の健全育成が図られた。</p>			
令和4年度における主な課題		改善した点・方向性	
①	イベントを実施するにあたり、対象者のニーズ把握が不十分であったことから、参加者の伸び悩みがあった。	事業ごとにニーズを把握した上で、事業内容の見直しを図りながら実施し、メディア及びSNSの活用や市内の各スポーツ団体に対して積極的に参加するよう周知方法の改善を図る。	
②	令和4年福島県沖地震の影響により、石巻市総合体育館アリーナが令和4年7月から令和5年1月まで使用不可だったことから、各種スポーツ教室参加者や体育施設利用者数が減少した。	吊り天井修繕が完了し、令和5年2月から使用を再開したことから、令和5年度は各種スポーツ教室参加者及び体育施設利用者が増加する見込みである。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
B	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	○
			◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上

外部評価	主な意見		
B 概ね順調	石巻地域はスポーツがすごく盛んだと思う。石巻地域でも県レベルの大会を開催していて、おそらくもっと大きな声で「スポーツのまち」と言って良い。素晴らしいアスリートが出ているので、さらに外に発信できれば、「スポーツのまち」が具現化できるのではないかと。		

細節		1 スポーツ活動を推進する					
重要業績評価指標 (KPI)	スポーツ教室参加者数 (単年)						担当部課
☆目標値見直し							市民生活部スポーツ振興課
指標の考え方	市民がスポーツを実施する機会を確保するため、各種スポーツ教室を実施し、参加者数を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 3,117人 実績に計上する事業を整理し、令和3年度の実績を基準に毎年度1%ずつ増加を目指す。 総合型地域スポーツクラブ普及促進事業、保育園体育教室、キッズバラエティ教室、卓球・バドミントン教室、出前講座、ティール教室の集計。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (人)	4,000	12,000	12,120	12,240	12,360		
実績 (人)	3,117	9,845	-	-	-	R4達成度	b
達成率	77.9%	82.0%	-	-	-		
細節		2 スポーツ環境を整備する					
重要業績評価指標 (KPI)	体育施設利用者数 (単年)						担当部課
☆目標値見直し							市民生活部スポーツ振興課
指標の考え方	老朽化した施設の改修や既存施設の開放により、市民が安全で快適にスポーツを実施できる環境を整え、体育施設の利用者数を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 446,027人 毎年度5%ずつ増加を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (人)	423,000	468,000	491,000	516,000	542,000		
実績 (人)	446,027	442,136	-	-	-	R4達成度	b
達成率	105.4%	94.4%	-	-	-		
細節		3 スポーツを通じた交流活動を推進する					
重要業績評価指標 (KPI)	スポーツ交流イベント参加者数 (単年)						担当部課
☆目標値見直し							市民生活部スポーツ振興課
指標の考え方	市民がスポーツの楽しさや魅力を身近に感じられるよう、市内外から多くの人を呼び込める様々なスポーツ交流イベントを開催し、参加者数を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 375人 実績に計上する事業を整理し、新たに事業を追加した。令和3年度の実績を基準に毎年度1%ずつ増加を目指す。 市主催スポーツ交流イベント、プロスポーツと連携したスポーツ交流事業、オリンピックデーラン、あすチャレ! school、ツール・ド・東北、復興マラソン、県駅伝競走大会の集計。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (人)	400	5,000	5,050	5,100	5,150		
実績 (人)	375	5,038	-	-	-	R4達成度	a
達成率	93.7%	100.7%	-	-	-		

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	6 市民の声が共鳴し市民と行政が共に創るまち		
節	1 市民に寄り添い信頼される行政運営の推進		
数値目標 (KGI)	信頼される行政サービスが行われていると感じる市民の割合		
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 市役所の窓口サービス（①+②） ①[満足・どちらかといえば満足] 54.0% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 17.8%		
設定値 (%)	R3 (基準値)	⇒	R7 (最終目標値)
	54.0	⇒	71.8

■節の達成状況

主な担当課	総務部秘書広報課		
関係課	総務部総務課、市民生活部市民課		
令和4年度の主な取組や成果			
<p>広聴事業について、令和3年度から再開した「動く市長室」の開催数を増やし、各総合支所、各支所及び田代島で開催したほか、「まちづくり懇談会」は2回開催した。また、令和4年度から「市長室開放デー」を再開した結果、目標の150人を大幅に上回る304人が参加した。市民から意見・提案ができる機会をつくることができ、市民と一体となったまちづくりを推進することができた。</p> <p>広報事業について、「市報いしのまき」の発行、ホームページでの周知、記者クラブへの投げ込み等により、様々な媒体を活用して、市政に関する情報発信を行った。市政に関心のある市民の割合は目標をやや下回ったものの、令和3年度よりも増やすことができた。</p> <p>情報開示請求について、目標よりも所要日数を短縮することができ、迅速な情報公開を行うことができた。</p> <p>休日開庁来庁者数は、目標を下回ったが、「マイナンバーカード普及に伴い、効率の良いコンビニ交付サービスを利用する方が増えた事」や「社会保障・税番号制度の導入などから住民票等の添付が不要になったもの」がある等、市民課へ来庁する方は減少傾向にあり、来庁せずに手続きできるサービスの利用が増えている。</p>			
令和4年度における主な課題		改善した点・方向性	
① 市民意識調査の「市政への関心」において、年齢層が低くなるほど関心が低い傾向にあり、特に18歳から29歳までの年齢層の関心が低い。		これまでの市報やホームページに加え、ソーシャルメディアを活用した情報発信にも取り組んでおり、若者の情報収集に対応した、効果的な情報発信を推進する。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
B	◎	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	△
			◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上

外部評価	主な意見		
B	若年層の市政への関心を高めるためには若い人達の考えをもっと聞くべきである。		
概ね順調			

細節		1 多様な市民ニーズの把握に努める					
重要業績評価指標 (KPI) ★指標見直し	市民等との懇談会の参加者数 (単年)						担当部課
							総務部秘書広報課
指標の考え方	多様な市民ニーズを把握するため、「まちづくり懇談会」「動く市長室」「市長室開放デー」等、多種多様な市民との意見交換会の参加者数を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 60人 「動く市長室」6総合支所×20人=120人 「市長室開放デー」及び「まちづくり懇談会」=30人						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (人)	-	150	150	150	150		
実績 (人)	60	304	-	-	-	R4達成度	a
達成率	-	202.6%	-	-	-		
細節		2 市民の関心を高める情報発信を推進する					
重要業績評価指標 (KPI) ★指標見直し	市政に関心がある市民の割合 (単年)						担当部課
							総務部秘書広報課
指標の考え方	様々な媒体を活用して随時適切な情報を発信し、市政に対する市民の理解と関心を高める。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 70.4% 令和7年度には市民5人のうち4人は市政への関心を持つことを目標とし、毎年度2%ずつ上昇を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (%)	46.1	74.0	76.0	78.0	80.0		
実績 (%)	70.4	71.2	-	-	-	R4達成度	b
達成率	152.7%	96.2%	-	-	-		
細節		3 情報公開等による透明性の確保を推進する					
重要業績評価指標 (KPI)	開示請求に係る平均所要日数 (単年)						担当部課
							総務部総務課
指標の考え方	市政について市民の知る権利を保障し、開示請求時における迅速な情報公開により、透明性の高い市政運営を推進する。						
目標値の考え方	○基準値：令和元年度 10.6日 庁内において積極的に情報公開の推進が図られることを想定し、毎年度0.5日程度の所要日数の短縮を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (日)	9.6	9.1	8.6	8.1	7.6		
実績 (日)	8.8	7.9	-	-	-	R4達成度	a
達成率 ※	109.0%	115.1%	-	-	-		

細節		4 市民サービスの利便性の向上を図る						
重要業績評価指標 (KPI) ★指標見直し	休日開庁来庁者数 (単年)						担当部課	
							市民生活部市民課	
指標の考え方	休日開庁の実施により、平日に来庁できない市民の利便性向上を図る。 ※令和5年度から「LINE公式アカウントの友だち件数 (単年)」に変更							
目標値の考え方	○基準値：令和元年度 2,024件 平日に来庁できない方へのサービスとして毎年2,000件を維持する。							
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)			
目標 (人)	2,000	2,000	-	-	-	再掲		
実績 (人)	1,208	1,304	-	-	-	R4達成度		
達成率	60.4%	65.2%	-	-	-	C		

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	6 市民の声が共鳴し市民と行政が共に創るまち		
節	2 持続可能な行財政運営の推進		
数値目標 (KGI)	効率的な行財政運営が行われていると感じる市民の割合		
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 行政運営や財政運営の効率化（①+②） ①[満足・どちらかといえば満足] 37.8% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 24.2%		
設定値 (%)	R3 (基準値)	⇒	R7(最終目標値)
	37.8	⇒	62.0

■節の達成状況

主な担当課	総務部財政課		
関係課	総務部行政経営課、総務部人事課、総務部管財課、復興企画部政策企画課、復興企画部ふるさと納税推進課		
令和4年度の主な取組や成果			
職員研修については、係長を対象に特別研修を実施して期待される役割・責任を明確にし、係長としての意識の高揚を図った。また、政策効果を最大限に発揮させるデータ活用研修や、人材育成を効果的に進めるOJT研修等を実施し、新型コロナウイルス感染症の影響で受講率が目標に届かない研修もあったが、概ね目標を達成できた。 公有財産売払いについては、未利用となっている公有財産の売払いを進めることで、遊休地の有効活用を図るとともに、市の歳入増加に寄与することができた。 公共施設における電気利用料金については、入札導入施設を拡大し、更なる経費削減を目指していたが、電気料金の急激な上昇とともに、新電力の応札が無く入札不調が続いたことで、目標額を達成できなかった。 ふるさと納税については、各ポータルサイトの特集コーナーへの掲載、首都圏在住で本市ゆかりの方へのチラシ配布、大規模イベントへの出展、取扱返礼品数の拡大等を実施した結果、目標額を達成できた。 財政調整基金の取崩しについては、令和4年度予算編成の基本方針「持続可能な財政基盤の確立」を踏まえた予算の編成・執行を行い、電気料金や物価高騰の影響もある中、目標額を達成できた。 石巻圏域への移住定住を促す取組として、県及び東松島市、女川町と連携して移住体験プログラムやPR動画の作成による情報発信を実施したが、少子高齢化などに起因する自然減が大きく、人口減少の抑制には至らなかった。			
令和4年度における主な課題		改善した点・方向性	
①	持続可能な財政基盤確立のため、財源確保が課題となっている。	ふるさと納税金額を増額するため、取扱返礼品数の拡大、新規寄附者獲得を目的としたイベント出展、見やすいポータルサイトへの運用改善等を実施した。	
②	電気料金高騰に伴い、公共施設の維持管理経費が増大している。	「節電チャレンジキャンペーン」に、高圧・低圧電気需給契約197契約を登録し、全庁的な節電に取り組んだ。	
③	コロナ禍や物価高騰の影響を受けている市民の生活や事業者の活動を支援しつつ、将来に渡り持続可能な財政基盤を確立する必要がある。	電気料金や物価高騰へ対応するため、国の臨時交付金を活用した補正予算を編成し、財政調整基金取崩額の抑制に努めた。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
B	◎	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	△
			◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上

外部評価	主な意見		
B 概ね順調	東日本大震災以降に整備した公共施設のランニングコストをどう考えているのか疑問。整備する際は国等の補助金を活用できるが、維持管理費は石巻市の税収だけで賄えるのか。		

細節		1 限られた人材、財源等を最大限活用できる体制を構築する					
重要業績評価指標 (KPI)	★指標見直し 職員研修受講率 (単年)						担当部課
							総務部人事課
指標の考え方	市民ニーズや行政課題が多様化しているため、研修の実施により職員一人ひとりの能力向上を図り、社会情勢の変化に的確かつ柔軟に対応できる職員を育成する。 ※令和5年度から「業務が効率化した課の割合 (単年)」に変更						
目標値の考え方	○基準値：令和元年度 87.8% 現状値水準以上の高水準を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (%)	95.00	95.00	-	-	-		
実績 (%)	93.73	92.65	-	-	-	R4達成度	b
達成率	98.6%	97.5%	-	-	-		
細節		2 未利用公有財産の有効な利活用を図る					
重要業績評価指標 (KPI)	☆目標値見直し 公有財産売払い件数 (累積)						担当部課
							総務部管財課
指標の考え方	財源の確保を図るため、未利用の市有地などの公有財産を随時処分し、有効に利活用する。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 9件 一般競争入札にて、比較的需要の高いと考えられる未利用地を毎年度1件ずつ売払いを行う。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (件)	1 9	1 1	1 11	1 12	1 13		
実績 (件)	9 9	1 10	-	-	-	R4達成度	a
達成率	900.0%	100.0%	-	-	-		
細節		3 公共施設の維持管理経費を節減する					
重要業績評価指標 (KPI)	★指標見直し 公共施設の入札導入による電気利用料金削減額 (単年)						担当部課
							総務部行政経営課
指標の考え方	維持管理経費の節減を図るため、公共施設への電気料金入札制度導入により電気利用料金の削減を図る。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 98/143施設入札導入 入札後の高圧電気料金実績 507,087,910円 入札未実施の場合の見込額 677,562,680円 削減額 170,474,770円 (削減率74.84%) 1施設あたり 1,739,538円×予定施設数 (令和4年度125施設、R5年度以降143施設) ※予測不能な高圧平均単価、入札単価、燃料調整額等は考慮せず令和3年度実績で固定						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (千円)	-	217,442	248,753	248,753	248,753		
実績 (千円)	170,475	153,153	-	-	-	R4達成度	c
達成率	-	70.4%	-	-	-		

細節		4 自主財源の安定的確保を図る					
重要業績評価指標 (KPI) ★指標見直し	ふるさと納税寄附金額 (単年)						担当部課
							復興企画部ふるさと納税推進課
指標の考え方	自主財源の確保を図るため、ふるさと納税の寄附金額を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 532,336,000円 令和3年度の寄附金額(約5億3千万円)を基準に、令和4年度の寄附状況を踏まえ、令和5年度は10億円、それ以降は2.5億円ずつ増額させることを目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (億円)	-	7.00	10.00	12.50	15.00		
実績 (億円)	5.32	7.99	-	-	-	R4達成度	a
達成率	-	114.1%	-	-	-		
細節		5 健全な財政運営を図る					
重要業績評価指標 (KPI) ★指標見直し	財政調整基金取崩額 (単年)						担当部課
							総務部財政課
指標の考え方	計画的な財政運営を図るため、財政調整基金(地方公共団体が財源に余裕のある年に積み立て、年度によって生じる財源の不均衡を調整する貯金)の取り崩し額を抑える。						
目標値の考え方	○基準値：令和元年度 45.8億円 令和7年度の予算規模推計値に震災前の繰入割合の最大値(1.8%)を乗じた額を目標とする。 財政収支見直し(中間案)時点における令和7年度予算規模推計値688.9億円×1.8%=12.4億円						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (億円)	55.1	29.2	22.4	21.1	12.4		
実績 (億円)	32.0	26.0	-	-	-	R4達成度	a
達成率 ※	172.1%	112.3%	-	-	-		
細節		6 広域連携体制を強化する					
重要業績評価指標 (KPI) ★指標見直し	石巻圏域の人口増減率(対前年度比)(単年)						担当部課
							復興企画部政策企画課
指標の考え方	令和4年10月7日に石巻圏域定住自立圏共生ビジョンを策定したことから、定住自立圏構想を推進することにより、圏域における人口減少の抑止を目指す。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度末 -1.444% 平成30年度から令和3年度まで、本圏域において毎年度平均約1.26%ずつ人口が減少していることから、前年度末に対する人口増減率を-1%に留める。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (%)	-	-1	-1	-1	-1		
実績 (%)	-1.444	-1.410	-	-	-	R4達成度	c
達成率 ※	-	70.9%	-	-	-		

総合計画 評価シート 【第2期復興・創生期間に係る対応方針】

章	1 第2期 復興・創生期間に係る対応方針						
対応方針	1 災害に強いまちづくりに向けて復興事業を確実に推進する						
数値目標 (KGI)	復興事業の進捗率 (累積)					復興企画部復興推進課	
指標の考え方	東日本大震災に係る復興事業について、一部完成に至っていない施設があることから、一日も早い事業の完結を目指す。						
目標値の考え方	○基準値：令和元年度末 86.1% 早期完成を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (%)	100	100	-	-	-		
実績 (%)	96.1	100	-	-	-	R4達成度	a
達成率	96.1%	100.0%	-	-	-		

■対応方針の達成状況

主な担当課	復興企画部復興推進課		
関係課	建設部下水道建設課		
令和4年度の主な取組や成果			
<p>東日本大震災に係る復興事業について、震災による広域的な地盤沈下に対応するため整備を進めてきた雨水排水ポンプ場11施設が全て完成したほか、災害時の避難路として整備を進めてきた都市計画道路「釜大街道線」や「石巻工業港運河線」が全線開通したこと等により、復興財源を活用した復興事業のハード整備については完結を迎えた。</p>			
令和4年度における主な課題		改善した点・方向性	
<p>① 想定外の土質の変化や新型コロナウイルス感染症の影響等により、工程が遅れている箇所があった。</p>		<p>早出残業等により工程短縮を図った。</p>	
内部評価	定性評価		定量評価【KGI】
A	◎	<p>◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない</p>	◎
			<p>◎：a ○：b △：c ×：d</p>

外部評価	主な意見
A 順調	<p>内水対策施設の完成による冠水被害の軽減が期待できる。今後は対応できる時間当たり降水量の引き上げに取り組んでほしい。</p>

施策	1 復興事業を確実に推進する							
重要業績評価指標 (KPI)	下水道復興事業進捗率 (累積)					担当部課		
						建設部下水道建設課		
指標の考え方	地盤沈下等による排水不良や浸水区域となった地域の内水対策のため、ポンプ施設の早期完成を目指す。							
目標値の考え方	○基準値：令和3年1月末 81.0% 早期完成を目指す。							
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲		
目標 (%)	100	100	-	-	-			
実績 (%)	92.9	100	-	-	-	R4達成度		a
達成率	92.9%	100.0%	-	-	-			

総合計画 評価シート 【第2期復興・創生期間に係る対応方針】

章	1 第2期 復興・創生期間に係る対応方針						
対応方針	2 活力ある地域社会の形成に向けて被災者の心の復興を推進する						
数値目標 (KGI)	「心の復興事業」参加者満足度 (単年)					復興企画部復興推進課	
指標の考え方 ★指標見直し	被災者の心身のケア、生きがいつくりによる心の復興や、コミュニティ形成の促進等、継続した支援が必要であり、市民が自律的な生活を営めるような支援活動を実施する団体へ補助を行う「心の復興事業」へ参加した市民の満足度を上げる。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 100% 全参加者が満足できる事業内容を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (%)	100	100	100	-	-		
実績 (%)	100	100	-	-	-	R4達成度	a
達成率	100.0%	100.0%	-	-	-		

■対応方針の達成状況

主な担当課	復興企画部復興推進課		
関係課			
令和4年度の主な取組や成果			
<p>全15団体が地域特性への対応や課題解決への取組を行った。 活動内容として、復興公営住宅に入居する高齢者などを対象に、農業体験として野菜作りなどを行うことで、地域の子どもから高齢者まで、多世代が交流できる機会を創り出したほか、復興公営住宅団地と近隣自治会住民を対象とした交流会や介護予防のワークショップなどを開催した。 参加者数は目標に達しなかったものの、アンケートなどによる参加者満足度は100%となり、地域ごとの課題に応じた各団体の取組や活動の結果、被災者の「孤立防止」や「心身の健康維持」、「コミュニティ形成」を図ることができた。</p>			
令和4年度における主な課題		改善した点・方向性	
<p>① 新型コロナウイルス感染症の影響により、各団体の活動に制限がかかってしまい、団体の自立した事業実施につながらない状況となった。</p>		<p>今後、平時における事業実施への移行や各団体の取組周知のため、継続的な支援が必要であると考え、復興庁に対し支援期間の延長や段階的な補助率の引き下げを行う等、各団体の自走化につなげるための調整を図った。</p>	
内部評価	定性評価		定量評価【KGI】
A	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	◎
			◎：a ○：b △：c ×：d

外部評価	主な意見
A 順調	本事業の参加人数を勘案すると、心の復興事業の難しさが感じられる。就業人口の減少対策や健康寿命を延ばしていくためにも、被災者の社会参加を後押ししてほしい。

施策	1 被災者の心の復興を推進する						
重要業績評価指標 (KPI)	「心の復興事業」参加者数 (単年)					担当部課	
★指標見直し						復興企画部復興推進課	
指標の考え方	同事業の参加者数を維持し、生きがいつくりやコミュニティ形成の促進等の支援活動により、被災者の心のケアを推進する。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 9,775人 東日本大震災からの時間の経過や新型コロナウイルスの影響等のほか、地域での自立した活動に移行することが本事業の目的であることから、徐々に事業への参加者は減少するものと予想されるが、参加者を維持する。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (人)	-	8,000	7,000	-	-		
実績 (人)	9,775	7,491	-	-	-	R4達成度	b
達成率	-	93.6%	-	-	-		

総合計画 評価シート 【地方創生の取組】

章	1 人口戦略の推進					
対応方針	1 安定した雇用を創出し稼ぐまちをつくる					
数値目標 (KGI)	新規雇用創出人数 (福祉関係等の専門人材を含む) (単年)				復興企画部政策企画課	
指標の考え方	人材の確保・育成を推進し、安定した雇用を創出することで、地域経済の活性化を図る。					
目標値の考え方 ☆目標値見直し	○基準値：令和元年度 77人 新規創業、水産業、農業の新規雇用創出数81人、医療介護職 (奨学金返還支援事業・R4：41人、R5～R7:46人)、保育士 (保育士確保支援事業・20人) の合計。					
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲
目標 (人)	126	142	147	147	147	
実績 (人)	96	116	-	-	-	R4達成度
達成率	76.1%	81.6%	-	-	-	b

実績値内訳 (人)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	担当部課
新規創業者数	17	30	-	-	-	産業部産業推進課
新規水産業就業者数	13	12	-	-	-	産業部水産課
新規就農者数	4	7	-	-	-	産業部農林課
新規奨学金交付者数 (医療介護職)	36	39	-	-	-	保健福祉部保健福祉総務課
新規一時金交付者数 (保育士)	26	28	-	-	-	保健福祉部子ども保育課

■対応方針の達成状況

主な担当課	復興企画部政策企画課		
関係課	保健福祉部保健福祉総務課、産業部商工課、産業部水産課、産業部農林課		
評価理由			
<p>本市の基幹産業である第1次産業について、担い手育成事業により、農業、水産業それぞれの課題に即した支援を講じたとともに、医療、福祉、介護人材の確保に向けた奨学金返還支援事業については、助成金の額及び助成対象期間の見直しにより、一層の定住促進につなげる取組を進めた。</p> <p>さらに、創業間もない方々に、新商品等を販売・提供する場を提供し、市場ニーズの把握や事業改善につなげることで、創業機運を高める取組を行った。</p>			
内部評価	定性評価		定量評価【KGI】 (括弧内はKGIが2つの場合)
B	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	○
			◎：a (どちらもa) ○：b (どちらも「aまたはb」) △：c (どちらかが「cまたはd」) ×：d (どちらもd)

外部評価	主な意見
B 概ね順調	医療・福祉・介護職を対象に奨学金返還の助成事業が行われているが、それ以外の業種で地元就職した方に対して助成制度がないのが現状である。業種に限らず、地元就職した方には、例えば就職祝い金のような制度を今後検討してほしい。

施策	1 地域産業の競争力を強化する							
重要業績評価指標 (KPI)	産業創造助成金交付による事業支援件数 (単年)						担当部課	
★指標見直し							産業部商工課	
指標の考え方	地域間競争力を向上させるため、事業者の新たな事業展開を支援・促進し、新規販路開拓や新商品開発等の事業活動を目的とした助成金を交付する。							
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 7件 人材育成、研究開発、情報提供、知的財産等取得事業の補助メニューに対し、2件ずつの申請を想定し設定した。							
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	基本計画 P34	
目標 (件)	-	8	8	8	8			
実績 (件)	7	5	-	-	-	R4達成度	C	
達成率	-	62.5%	-	-	-			
施策	2 専門人材を確保・育成する							
重要業績評価指標 (KPI)	新規水産業就業者数 (単年)						担当部課	
★指標見直し							産業部水産課	
指標の考え方	水産業就業者の減少が続いているため、移住者や若者を積極的に受け入れ、サポート体制の充実等により新規水産業就業者を増やす。							
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 13人 平成27年度の事業開始から平均値が7人であるため、毎年度10人を目指す。							
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	基本計画 P38	
目標 (人)	10	10	10	10	10			
実績 (人)	13	12	-	-	-	R4達成度	a	
達成率	130.0%	120.0%	-	-	-			
施策	2 専門人材を確保・育成する							
重要業績評価指標 (KPI)	新規就農者数 (単年)						担当部課	
★指標見直し							産業部農林課	
指標の考え方	農業従業者の高齢化や担い手不足が続いていることから、移住者や若者を積極的に受け入れ、サポート体制の充実等により新規就農者を増やす。							
目標値の考え方	○基準値：令和元年度 4人 近年の実績から毎年度2人程度の確保を目指す。							
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	基本計画 P43	
目標 (人)	2	2	2	2	2			
実績 (人)	4	7	-	-	-	R4達成度	a	
達成率	200.0%	350.0%	-	-	-			

施策	3 働きやすい魅力的な環境を整備する						
重要業績評価指標 (KPI)	奨学金返還支援事業助成人数 (単年)					担当部課	
★指標見直し						保健福祉部保健福祉総務課	
指標の考え方	市内に居住し、市内の事業所に勤務する医療、福祉、介護等の専門職の方に対し、奨学金返還金を助成することにより、医療、福祉、介護人材を確保する。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 36人 これまでの実績に加え、年々申請者が増加傾向にあることから、新規申請者の増加を見込んだ目標値とした。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	基本計画 P30
目標 (人)	-	41	46	46	46		
実績 (人)	36	39	-	-	-	R4達成度	b
達成率	-	95.1%	-	-	-		

総合計画 評価シート 【地方創生の取組】

章	1 人口戦略の推進						
対応方針	2 絆を大切にし人が集まるまちをつくる						
数値目標 (KGI)	社会移動増減数 (単年)					復興企画部政策企画課	
指標の考え方	若者の地元定着や移住施策を推進し、減少幅を少なくすることで人口減少を抑制する。						
目標値の考え方	○基準値：令和元年 -712人 人口ビジョンで示している推計値を活用し、転出超過数が年々減少するよう傾斜をかけて算出。令和元年より397人の転出超過を抑制することを目標とすることから、転入者が増え(転出者が減り)令和7年は315人の転出超過となる。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (人)	-380	-350	-330	-317	-315		
実績 (人)	-784	-440	-	-	-	R4達成度	c
達成率 ※	48.4%	79.5%	-	-	-		
数値目標 (KGI)	地元就職割合 (単年)					産業部商工課	
指標の考え方 ★指標見直し	学生の地元就職割合を向上させることで人口減少を抑制する。						
目標値の考え方	○基準値：令和2年4月末 51.5% 施策により基準値よりも増加するよう努める。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (%)	55.0	55.0	55.0	55.0	55.0		
実績 (%)	54.2	54.5	-	-	-	R4達成度	b
達成率	98.5%	99.0%	-	-	-		

■対応方針の達成状況

主な担当課	復興企画部政策企画課		
関係課	総務部震災伝承推進室、復興企画部SDGs移住定住推進課、復興企画部ふるさと納税推進課、産業部産業推進課、産業部商工課、教育委員会生涯学習課		
評価理由			
<p>移住・定住に係る新たな専門部署を設置し、様々な機会を捉え、本市の魅力や各種支援制度のPR等を行った。また、企業立地件数は目標に至らなかったが、企業訪問活動の成果が出てきており、一定数の件数を確保した。合同企業説明会については、規模の大きな説明会が会場の都合により中止となったが、関係機関との連携により、進路選択に大きな影響を及ぼしている保護者を対象とした市内企業見学バスツアー等を新たに開催するなど、若者の地元就職率を高める取組を行った。</p>			
内部評価	定性評価		定量評価【KGI】 (括弧内はKGIが2つの場合)
C	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	△
			◎：a (どちらもa) ○：b (どちらも「aまたはb」) △：c (どちらかが「cまたはd」) ×：d (どちらもd)

外部評価	主な意見
C やや遅れている	若者が働く「場」に何を求めているのかを理解する必要がある。外に出たいと希望する学生を引き留めてもうまくいかない。地元の企業の魅力を伝えていくことが重要である。Uターン者の受け入れも積極的に行うべき。

施策	1 地方移住・移転の推進を図る							
重要業績評価指標 (KPI)	移住対策事業を活用した本市への移住人数 (単年)						担当部課	
★指標見直し							復興企画部SDGs移住定住推進課	
指標の考え方	移住対策事業 (移住相談、空き家バンク、石巻市定住促進住宅取得等補助金、お試し移住体験) を推進することで、移住人口の増加を図る。							
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 76人 令和3年度から移住希望者に対する住宅取得等の補助金を創設したことから、補助金を活用した移住者130人、相談窓口を利用した移住者20人を目指す。							
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	基本計画 P4	
目標 (人)	-	150	150	150	150			
実績 (人)	76	152	-	-	-	R4達成度	a	
達成率	-	101.3%	-	-	-			
施策	1 地方移住・移転の推進を図る							
重要業績評価指標 (KPI)	立地企業件数 (単年)						担当部課	
★指標見直し							産業部産業推進課	
指標の考え方	企業誘致は新たな雇用創出や定住人口の増加につながるほか、市税収入等の増加にも効果があることから、企業立地意向調査や企業訪問等に取り組み、市内に新たに立地する企業数を増やす。							
目標値の考え方	○基準値：令和元年度 5件 過去5年間の企業立地実績をベースに、今後の用地分譲件数を考慮して設定した。 ※過去5年の平均立地件数/年+今後平均分譲数/年×(100-指定企業者率34%)							
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	基本計画 P48	
目標 (件)	10	10	10	10	10			
実績 (件)	10	9	-	-	-	R4達成度	b	
達成率	100.0%	90.0%	-	-	-			
施策	2 若者の地元定着の推進を図る							
重要業績評価指標 (KPI)	合同企業説明会への求職者の参加人数 (単年)						担当部課	
☆目標値見直し							産業部商工課	
指標の考え方	産業人材を確保及び育成するため、関係機関との連携により合同企業説明会の参加人数を増やす。							
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 一般向け 16人、高校生向け 413人 (2回) 令和4年度からは高校生の合同企業説明会参加者を含めて設定した。 一般求職者向け 100人 (年2回×1回あたり50人) 高校生向け 250人 (年1回)							
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	基本計画 P50	
目標 (人)	200	350	350	350	350			
実績 (人)	429	77	-	-	-	R4達成度	d	
達成率	214.5%	22.0%	-	-	-			

施策		2 若者の地元定着の推進を図る						
重要業績評価指標 (KPI)	ふるさと子どもカレッジ参加者満足度 (単年)						担当部課	
							教育委員会生涯学習課	
指標の考え方	子どもたちが郷土の自然や文化を体験するため、地域や企業の協力のもと、年間7回を通して各地区の特色を生かした講座を開催し、参加者の満足度が高い内容を実施することで参加者数を増やす。							
目標値の考え方	○基準値：令和元年度 83% 全参加者が満足できる事業内容を目指す。							
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	基本計画 P60	
目標 (%)	100	100	100	100	100			
実績 (%)	100	100	-	-	-	R4達成度	a	
達成率	100.0%	100.0%	-	-	-			
施策		3 関係人口の創出・拡大、つながりの継続を図る						
重要業績評価指標 (KPI)	震災遺構来訪者数 (単年)						担当部課	
							総務部震災伝承推進室	
指標の考え方	震災遺構来訪者数を増やし、東日本大震災の経験や教訓を多くの人々に伝え続ける。							
目標値の考え方	○大川小：令和3年7月開場 令和3年度 49,245人 門脇小：令和4年4月開場 年間の来訪者を門脇小58,000人(月4,800人)、大川小80,000人(月6,600人)を目標とし、企画展の開催や常設展示の更新等により維持を目指す。							
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	基本計画 P12	
目標 (人)	45,000	138,000	138,000	138,000	138,000			
実績 (人)	49,245	116,520	-	-	-	R4達成度	b	
達成率	109.4%	84.4%	-	-	-			
施策		4 地方への資金の流れの創出・拡大を図る						
重要業績評価指標 (KPI)	ふるさと納税寄附件数 (単年) ☆目標値見直し						担当部課	
							復興企画部ふるさと納税推進課	
指標の考え方	ふるさと納税を通じて得た個人と本市とのつながりを活かし、各種情報発信などを通じてつながりを構築する。							
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 42,978件 532,335千円 1件当たり約12,400円 寄附額をR4:7億円、R5:10億円、R6:12.5億円、R7:15億円に設定し、令和3年度の寄附単価を基に算出した。							
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲		
目標 (件)	30,000	65,000	81,000	101,000	122,000			
実績 (件)	42,978	69,930	-	-	-	R4達成度	a	
達成率	143.2%	107.5%	-	-	-			

総合計画 評価シート 【地方創生の取組】

章	1 人口戦略の推進						
対応方針	3 結婚・妊娠・出産・子育ての希望がかなうまちをつくる						
数値目標 (KGI)	合計特殊出生率 (単年)					復興企画部政策企画課	
指標の考え方	出生数の減少が続く中、合計特殊出生率を確認することで、自分が暮らすまちで安心して子どもを産み育てる環境づくりができていないかを測る。						
目標値の考え方	○基準値：令和元年 1.25 総合計画と一体的に策定した人口ビジョンで示している推計値を目標値とする。 ※令和4年実績値：令和3年合計特殊出生率						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (-)	1.52	1.52	1.52	1.52	1.52		
実績 (-)	1.23	1.20	-	-	-	R4達成度	c
達成率	80.9%	78.9%	-	-	-		
数値目標 (KGI)	女性人口 (15～49歳) (単年)					復興企画部政策企画課	
指標の考え方	結婚・妊娠・出産・子育ての希望がかなう環境を整備することで、女性の流出を抑え、女性人口を維持する。						
目標値の考え方	○基準値：令和2年3月 25,033人 人口ビジョンで示している推計値を活用。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (人)	21,696	21,696	21,696	21,696	21,696		
実績 (人)	23,542	22,970	-	-	-	R4達成度	a
達成率	108.5%	105.8%	-	-	-		

■対応方針の達成状況

主な担当課	復興企画部政策企画課		
関係課	復興企画部地域振興課、保健福祉部健康推進課、保健福祉部子育て支援課、保健福祉部子ども保育課、教育委員会学校教育課		
評価理由			
<p>新婚世帯に対するスタートアップ費用の一部を助成する制度の創設、出産しやすい環境づくりのため、乳児及び産婦の健康状態や養育状況の確認、産前産後プランの作成等に取り組んだほか、一時預かり事業を実施する保育施設の増加など、子育て環境の改善に取り組んだ。</p> <p>また、市職員のみならず、市内企業の管理職を対象とし、業務の効率化や男性の育児休業の取得促進など、ワークライフバランスの推進に向けた意識啓発のための研修会等を開催した。</p>			
内部評価	定性評価		定量評価【KGI】 (括弧内はKGIが2つの場合)
C	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	△
			◎：a (どちらもa) ○：b (どちらも「aまたはb」) △：c (どちらかが「cまたはd」) ×：d (どちらもd)

外部評価	主な意見
C やや遅れている	子育て、結婚して出産してからこの地域に住んでもらうための様々な戦略が必要。NPO等活用して、ぜひ、子育てしやすい石巻地域をつくってほしい。

施策	1 結婚・妊娠・出産への切れ目のない支援を推進する							
重要業績評価指標 (KPI)	新生児訪問事業（乳児全戸訪問事業）実施率（単年）						担当部課	
							保健福祉部健康推進課	
指標の考え方	出産から子育て期の継続的な支援を行うため、新生児の訪問事業（保健師による生後4ヶ月未満の赤ちゃんがいる世帯への訪問事業）の実施率を上げる。							
目標値の考え方	○基準値：令和元年度 98.3% 対象期間中に里帰り出産等で訪問できない世帯があるが、それ以外の世帯へ訪問を実施する。							
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	基本計画 P22	
目標 (%)	98.5	98.5	98.5	98.5	98.5			
実績 (%)	94.4	98.8	-	-	-	R4達成度	a	
達成率	95.8%	100.3%	-	-	-			
施策	2 子育て支援の充実を図る							
重要業績評価指標 (KPI)	保育施設及び放課後児童クラブ待機児童数（単年）						担当部課	
							保健福祉部子ども保育課 保健福祉部子育て支援課	
指標の考え方	保育施設等の待機児童数を減少させ、子育て環境を充実させる。							
目標値の考え方	○基準値：令和2年度（4月時点） 保育施設12人、児童クラブ170人 保育施設や放課後児童クラブへ申請したものの、定員超過等のため入所・入級できない児童が発生しないよう毎年度0人を目指す。							
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	基本計画 P22	
目標 (人)	0	0	0	0	0			
実績 (人)	8 5	3 0	-	-	-	R4達成度	a	
達成率	-	-	-	-	-			
施策	3 学校教育の充実を図る							
重要業績評価指標 (KPI)	学校が楽しいと感じている児童生徒の割合（単年）						担当部課	
							教育委員会学校教育課	
指標の考え方	児童生徒の主体的に生きる力を育成するため、児童生徒の意欲を高めることが重要であることから、学校が楽しいと感じている児童生徒の割合を高める。							
目標値の考え方	○基準値：令和2年度 83.6% 高い数値で推移しているが、引き続き高水準を維持する。							
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	基本計画 P54	
目標 (%)	80.0	82.0	84.0	86.0	88.0			
実績 (%)	91.7	91.0	-	-	-	R4達成度	a	
達成率	114.6%	110.9%	-	-	-			

施策		3 学校教育の充実を図る					
重要業績評価指標 (KPI) ★指標見直し	スクールカウンセラーを活用した各校の教員研修会実施率 (単年)						担当部課 教育委員会学校教育課
指標の考え方	児童生徒、保護者及び教職員の心理的安定を図るため、全校に配置しているスクールカウンセラー (教育機関において心理相談業務に従事する心理職専門家) による、教員への研修会を全校で実施する。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 スクールカウンセラー配置率100% スクールカウンセラーによる教員への研修会を毎年度全校で実施する。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	基本計画 P58
目標 (%)	-	100	100	100	100		
実績 (%)	-	49.0	-	-	-	R4達成度	d
達成率	-	49.0%	-	-	-		
施策		4 仕事と子育ての両立を図る					
重要業績評価指標 (KPI)	「育児や家事の役割」について「夫婦同様」との回答割合 (単年)						担当部課 復興企画部地域振興課
指標の考え方	セミナーや研修等を開催し、男女共同参画への理解を深めることで、社会のあらゆる分野における意識啓発を図る。						
目標値の考え方	○基準値：令和2年度 60.1% 男女共同参加基本計画において、計画最終年度となる令和7年度目標値を70%としている。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	基本計画 P8
目標 (%)	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0		
実績 (%)	49.9	66.1	-	-	-	R4達成度	b
達成率	71.2%	94.4%	-	-	-		

総合計画 評価シート 【地方創生の取組】

章		1 人口戦略の推進					
対応方針		4 災害に強く安全安心に暮らせる魅力的なまちをつくる					
数値目標 (KGI)	住み続けたいと思う市民の割合 (単年)				復興企画部政策企画課		
指標の考え方	市民が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、まちの機能の充実や地域資源の活用による、安心して魅力的なまちづくりが行われているかを測る。						
目標値の考え方	○基準値：令和元年11～12月 81% (総合計画策定に係るアンケート調査) 令和元年度から令和3年度は1%ずつ、令和3年度から令和7年度にかけては毎年度0.5%ずつ上昇を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (%)	83.0	83.5	84.0	84.5	85.0		
実績 (%)	81.3	83.5	-	-	-	R4達成度	a
達成率	97.9%	100.0%	-	-	-		
数値目標 (KGI)	防災訓練参加率 (単年)				総務部危機対策課		
指標の考え方	災害時に迅速に対応するためには、市民一人ひとりの防災意識や災害への備えが重要であることから、防災訓練の参加率を上げることで、地域防災力の向上を図る。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 17.75% 直近の一番高い参加率が平成30年度の20%であることから、令和7年度には人口の20% (令和7年人口推計値からの算出で25,900人) の参加率を目標値とし、令和4年度から毎年度0.56% (令和4年9月末時点人口算出で767人) の増加を目指す。						
☆目標値見直し							
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	基本計画 P6
目標 (%)	15.50	18.31	18.87	19.43	20.00		
実績 (%)	17.75	15.45	-	-	-	R4達成度	b
達成率	114.5%	84.3%	-	-	-		

■対応方針の達成状況

主な担当課	復興企画部政策企画課	
関係課	総務部危機対策課、復興企画部地域振興課、市民生活部地域協働課、保健福祉部保健福祉総務課、保健福祉部介護福祉課、産業部観光課、教育委員会生涯学習課	
評価理由		
公共交通利用促進のため住民バス路線の再編作業を進め、令和5年度の実証運行開始に向けた準備を行ったほか、住民の主体的な互助活動の促進とコミュニティ醸成に寄与するため、地域互助活動促進事業については、令和5年度に向け、より活用しやすい環境を整えるよう、対象事業の要件緩和、助成期間の限度を延長する見直しの準備に取り組んだ。 総合防災訓練については、コロナ影響により参加率は低迷したが、防災意識の高揚及び地域の防災リーダーを育成するため、防災指導員養成講習の開催、自主防災組織の機能強化のための機材等の購入費用を補助する制度の利用促進等に取り組んだ。		
内部評価	定性評価	定量評価【KGI】 (括弧内はKGIが2つの場合)
B	○	○
	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	◎：a (どちらもa) ○：b (どちらも「aまたはb」) △：c (どちらかが「cまたはd」) ×：d (どちらもd)

外部評価	主な意見
B 概ね順調	観光客も増え、石巻が全国から訪れたいと思わせる「しかけ」を、これからも官民一体となって企画していくことが必要。

施策	1 質の高い暮らしのためのまちの機能の充実を図る						
重要業績評価指標 (KPI)	公共交通利用者数 (単年)					担当部課	
						復興企画部地域振興課	
指標の考え方	公共交通利用者は減少傾向にあることから、利用者数を測ることにより、市民にとって利用しやすい交通体系が構築されているか確認するほか、利用者の増加により持続可能な公共交通ネットワークを構築する。						
目標値の考え方	○基準値：令和元年度 361,398人 令和元年度の実績を基準とし、毎年度1%ずつ増加を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (人)	368,662	372,349	376,072	379,833	383,631		
実績 (人)	297,157	314,862	-	-	-	R4達成度	b
達成率	80.6%	84.5%	-	-	-		
施策	1 質の高い暮らしのためのまちの機能の充実を図る						
重要業績評価指標 (KPI)	住民自治組織交付金を活用して活動した団体数 (単年)					担当部課	
★指標見直し						市民生活部地域協働課	
指標の考え方	住民主体の地域づくりを推進するため、市内16地区すべての住民自治組織の設立を目指す。						
目標値の考え方	○基準値：令和2年度 4件 (山下、河南、桃生、北上) 市内全16地区での実施を目指す。 (石巻、山下、山の手、住吉、釜・大街道、湊、渡波、稲井、荻浜、蛇田、河南、雄勝、河北、桃生、北上、牡鹿)						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	基本計画 P2
目標 (件)	-	6	7	11	16		
実績 (件)	3	4	-	-	-	R4達成度	c
達成率	-	66.6%	-	-	-		
施策	2 資源を活かした地域の魅力づくりを推進する						
重要業績評価指標 (KPI)	観光客入込数 (単年)					担当部課	
						産業部観光課	
指標の考え方	観光業は即効性が高く、地域産業と関連して経済的効果が大きいことから、各種取組を推進し、観光地点及び行催事・イベント等に訪れた人数を増やし、地域経済の活性化を図る。						
目標値の考え方	○基準値：平成30年1月～12月 3,300,000人 今後、新型コロナウイルス感染症の影響がどこまで響くか見通しが困難であるが、令和7年度まで基準値の1割増加を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (人)	3,600,000	3,600,000	3,600,000	3,600,000	3,600,000		
実績 (人)	2,773,778	4,248,570	-	-	-	R4達成度	a
達成率	77.0%	118.0%	-	-	-		

施策		2 資源を活かした地域の魅力づくりを推進する					
重要業績評価指標 (KPI)	複合文化施設利用者数 (単年)						担当部課
							教育委員会生涯学習課
指標の考え方	企画展・特別展を開催し、市民に文化・芸術に触れる場を提供することで、石巻市の歴史・文化に対する理解を深めるとともに、心の豊かさの醸成を図る。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 104,478人 令和3年度の実績を基準とし、毎年度10,000人の増加を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (人)	100,000	110,000	120,000	130,000	140,000		
実績 (人)	104,478	133,348	-	-	-	R4達成度	a
達成率	104.4%	121.2%	-	-	-		
施策		3 安心して暮らせる医療・福祉環境の充実を図る					
重要業績評価指標 (KPI)	☆目標値見直し 地域互助活動実施団体件数 (単年)						担当部課
							保健福祉部保健福祉総務課
指標の考え方	高齢者・障害者・子ども・生活困窮者を対象とした日常生活上の助け合い活動 (送迎支援、買物支援、見守り・声がけ支援等) を行う団体数を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和2年度 11件 令和5年度以降は同様の事業を整理統合し、申請実績のない自治会等に対して「互助」の意識醸成を図ることを目的として事業の見直しをすることから、これまでの実績に加え、新型コロナウイルス感染症の影響下においても地域活動に取り組んでいる団体の実績を勘案し目標値とした。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	基本計画 P30
目標 (件)	11	15	55	58	61		
実績 (件)	13	14	-	-	-	R4達成度	b
達成率	118.1%	93.3%	-	-	-		
施策		3 安心して暮らせる医療・福祉環境の充実を図る					
重要業績評価指標 (KPI)	★指標見直し 「生きがい」を持ちながら暮らしている高齢者の割合 (単年)						担当部課
							保健福祉部介護福祉課
指標の考え方	高齢者の心身の健康維持や向上を図るためには、日々の生活の中で「生きがい」を持つことが重要であることから、「生きがい」を持つ高齢者の割合を高める。						
目標値の考え方	○基準値：令和2年度 67.7% 策定時において、第3期石巻市地域福祉計画 (平成29年度～令和3年度) の目標値を達成していなかったため、同目標値とした。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	基本計画 P24
目標 (%)	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0		
実績 (%)	70.8	70.1	-	-	-	R4達成度	b
達成率	88.5%	87.6%	-	-	-		

施策	4 災害に強いまちづくりを推進する						
重要業績評価指標 (KPI)	防災指導員数 (累積)					担当部課	
☆目標値見直し						総務部危機対策課	
指標の考え方	地域で中心的な役割を担い、防災活動支援や防災意識向上の啓発活動などを行う防災指導員数を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 247人 市内の自主防災組織数が227組織あることから、1組織2名の配置を目指し育成し、454名の目標とするが、資格取得後における自然減、社会減を10%と見込み、年40名の増加を目指し、令和7年度には407名の防災指導員を確保する。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (人)	297	287	327	367	407		
実績 (人)	247	314	-	-	-	R4達成度	a
達成率	83.1%	109.4%	-	-	-		

総合計画 評価シート 【地方創生の取組】

章	2 未来都市の実現						
対応方針	1 コミュニティを核とした持続可能な地域社会をつくる						
数値目標 (KGI)	市民のSDGs認知度 (単年)					復興企画部SDGs移住定住推進課	
指標の考え方	SDGsの認知度を高めることで、持続可能な地域づくりに取り組む市民を増やす。						
目標値の考え方 ★目標値見直し	○基準値：令和3年度 59.4% 令和3年度は主婦層の認知度が低かったため、令和4年度はこれまでの取組の他にスーパーへのPOPの掲示や市報での身近なSDGsの取組紹介等、主婦層をターゲットとした取組を行ってきたことから、令和4年度の認知度は70%を見込み、令和5年度以降は5%ずつの増加を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (%)	40.0	50.0	75.0	80.0	85.0		
実績 (%)	59.4	72.4	-	-	-	R4達成度	a
達成率	148.5%	144.8%	-	-	-		

■対応方針の達成状況

主な担当課	復興企画部SDGs移住定住推進課		
関係課			
令和4年度の主な取組や成果			
<p>SDGsモデル事業において、ハイブリットリユース事業で生産した電動カートを新たな地区に導入し、拡大を図っていく予定であったが、カート製作や公道走行に必要な各種手続きに遅れが生じ、令和4年度内に新たな地区で電動カートの運行を開始することができなかった。</p> <p>しかし、現在導入している地区において、グリーンスローモビリティ事業の周知を図り、買い物等への活用を促進した結果、延べ利用者数については令和3年度の152名から125名が増加したほか、利用者数の増加に伴い、走行距離についても着実に増加させることができた。地域における新たな「移動の足」として根付きつつある状況がみられ、外出機会の創出による高齢者の孤立防止やコミュニティの活性化に資することができた。</p> <p>また、カーシェアリングの買い物等延べ利用者数については、目標値を大きく上回り、市内におけるカーシェアリングの取組が浸透してきている様子がみられ、高齢者等の交通課題の改善に寄与することができた。</p>			
令和4年度における主な課題		改善した点・方向性	
① 電動カートの新たな地区への導入に遅れが生じている。		令和4年度内に車体は完成したため、令和5年度において公道走行に必要な各種手続き等を早急を実施する。	
内部評価	定性評価		定量評価【KGI】
A	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	◎
			◎：a ○：b △：c ×：d

外部評価	主な意見
A 順調	市民のSDGs認知度について、目標値より実績値が大幅に増えていることは良いことである。学校等での取組もあり、子ども達の意識も高まっている。

施策		1 地域に雇用を生み稼ぐ仕組みを構築する						
重要業績評価指標 (KPI)	★指標見直し	ハイブリッドリユース事業によって生産されたグリーンスローモビリティの延べ利用者数 (単年)					担当部課	
							復興企画部SDGs移住定住推進課	
指標の考え方	ハイブリッドリユースにより生産されたグリーンスローモビリティを活用することで、地域経済の活性化を図る。							
目標値の考え方	<p>○基準値：令和3年度 152人 (A地区のみ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配置するカートは2台。(A地区1台、B地区1台 (R5~配置)) ・運行回数は週2回、年間 (52週) 100回と想定 <p>【A地区】 R4~R7の目標値について、R3実績からの平均乗車人数3人×運行回数100回=300人</p> <p>【B地区】 R5目標値について、平均乗車人数4人×運行回数80回 (運用初年度のため) =320人、R6~R7の目標値については、平均乗車人数4人×運行回数100回=400人</p> <p>※参考：カーシェア会員数 A地区 47名 B地区73名</p>							
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲		
目標 (人)	-	300	620	700	700			
実績 (人)	152	277	-	-	-	R4達成度	b	
達成率	-	92.3%	-	-	-			
施策		2 地域コミュニティによる支え合いを推進する						
重要業績評価指標 (KPI)	☆目標値見直し	カーシェアリングの買い物等延べ利用者数 (単年)					担当部課	
							復興企画部SDGs移住定住推進課	
指標の考え方	カーシェアリングの利用者を向上させ、地域コミュニティの活性化を図り、地域に暮らす人が支え合いながら生活することのできる地域社会をめざす。							
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 11,160人 カーシェアリング協会において実績にあわせて設定した。							
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲		
目標 (人)	2,200	2,400	11,500	11,750	12,000			
実績 (人)	11,160	12,756	-	-	-	R4達成度	a	
達成率	507.2%	531.5%	-	-	-			
施策		3 低炭素社会を実現する						
重要業績評価指標 (KPI)	★指標見直し	グリーンスローモビリティの走行距離 (単年)					担当部課	
							復興企画部SDGs移住定住推進課	
指標の考え方	環境への負荷が少ないグリーンスローモビリティを活用することで低炭素社会の実現を目指す。							
目標値の考え方	<p>○基準値：令和3年度 98km (A地区のみ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配置するカートは2台。(A地区1台、B地区1台 (R5~配置)) ・運行回数は週2回、年間 (52週) 100回と想定 <p>【A地区】 R4~R7の目標値について、R3実績からの平均走行距離3km/回×運行回数100回=300km</p> <p>【B地区】 R5目標値について、平均走行距離5km×運行回数80回 (運用初年度のため) =400km、R6~R7の目標値については、平均走行距離5km×運行回数100回=500km</p> <p>※参考：給電ステーションからイオンモール石巻までの距離 A地区 1km B地区 1.7km</p>							
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲		
目標 (km)	-	300	700	800	800			
実績 (km)	98	279	-	-	-	R4達成度	b	
達成率	-	93.0%	-	-	-			